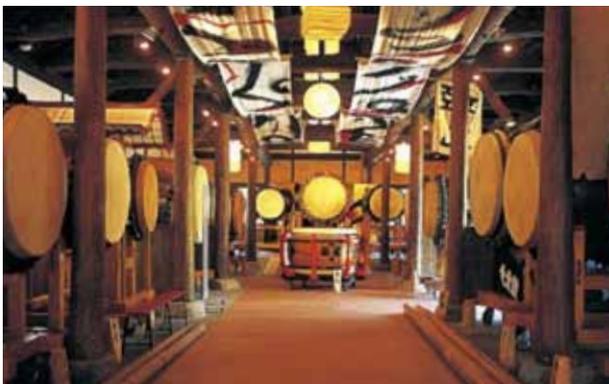


宇城広域連合消防本部の概要

宇城広域連合消防本部は、宇城広域連合の消防業務を担い、宇土市・宇城市・下益城郡美里町の2市1町で構成されています。熊本県のほぼ中央に位置し、宇土半島北側に有明海、南側に八代海を配し、国道57号線や国道266号線を西へ進むと平成27年に「明治日本の産業革命遺産」の一つとして世界文化遺産に登録された熊本の三角西港や天草の玄関口、天城橋や天門橋が見えてきます。

(位置と地勢P4 参照)



▲宇土市・大太鼓収蔵館



▲宇城市（三角西港）浦島屋



▲宇城市（豊野町）薩摩渡し



▲美里町・日本一の石段

目 次

連合勢の概要

管内一目統計	1
令和元年度各種行事	2
位置と地勢	4
面積と人口	4
消防の沿革	5
宇城広域連合機構図	12
定数及び任期	13
歴代組合長及び連合長	13
歴代消防長	13
消防庁舎の現況	14
常備消防予算の概要	16

消 防 現 況

事務分掌	17
消防職員の状況	21
年齢別職員数	22
勤続年数別職員数	23
消防力の整備指針による基準消防力と現有消防力	24
消防力現勢配置図	25
協定書に基づく応援等について	26
階級別特殊技能取得状況	27
消防資器材の現有状況	28
消防通信系統図	31
119 受信状況	32
気象状況	33

火 災

概 況	34
10 か年の火災発生件数	35
市町別 10 か年の火災発生件数	35
月別火災発生件数	36
月別・市町別火災発生件数	36
時間・種別毎火災発生件数	36
市町別火災発生件数と損害額	37
年別火災状況及び損害額	38
月別火災発生状況	39
市町別火災発生状況	40
出火原因別の前年比	41
出火原因別火災発生件数	41

救急・救助

救急概況	42
10 か年の救急出場件数	42
市町別救急出場件数	43
市町別救急搬送人員	43
署別救急出場件数	44
救急出場応援（PA 連携）	44
10 か年署別救急出場件数推移	45
時間別救急出場件数	46
月・曜日別種別毎搬送人員	47
事故種別医療機関別搬送人員	48
事故種別年齢区分別傷病程度搬送人員	49
現場到着所要時間別出場件数	50
収容所要時間別搬送人員	50
救急隊員の行った応急処置件数	51
救助概況	53
10 か年の救助出場件数	53
事故種別救助出場及び活動状況	53
発生場所別救助出場及び救助人員	53

予 防

予防業務の概要	54
火災予防条例等に基づく諸届受理件数	54
防火対象物現況	55
用途別建築同意件数	56
市町別建築同意件数	57
月別建築同意件数	57
危険物製造所等の取扱数量別施設数	58
危険物規制事務取扱状況	59
市町別危険物施設数	60

自主防災組織

幼年消防クラブ	61
少年消防クラブ	62
婦人防火クラブ	62

消 防 団

団員数とポンプ台数	63
-----------	----

住民に対する各種活動

救命講習等の実施状況	64
住宅用火災警報器 宇城設置率の推移	65
住宅用火災警報器 全国設置率の推移	65
うき防火標語	66

所在一覧・災害情報テレホンサービス・E-mail・ホームページ	67
---------------------------------	----

連 合 勢 の 概 要

- ◇ 管内一目統計
- ◇ 令和元年度各種行事
- ◇ 位置と地勢
- ◇ 面積と人口
- ◇ 消防の沿革
- ◇ 宇城広域連合機構図
- ◇ 定数及び任期
- ◇ 歴代組合長及び連合長
- ◇ 歴代消防長
- ◇ 消防庁舎の現況
- ◇ 常備消防予算の概要

宇城広域連合 消防本部

UKI FIRE DEPARTMENT

消防本部について | 統計 | 申請書・届出 | 講習会・試験案内 | 係規集

緊急情報

現在発表されている緊急情報はありません。

宇城広域のお天気情報

2019年6月17日(月)

今日 29℃ ~ 27℃ | 明日 26℃ ~ 19℃

九州北部地方は、東洋の低気圧の影響で雲量が増えていますが、雨雲は広がって来られていません。

災害に強い安心・安全なまちづくりを目指して

Tメニュー

- 活動報告
- 生活安全情報
- 採用情報
- 防火組織
- リンク集
- 運営ポリシー

消防用設備等指導指針

消防の防火安全情報表示制度

応急手当WEB講習

宇城広域連合

宇城広域消防公式 Facebook

消防本部の連絡先

代表電話 0964-22-0554

新着情報 ~ NEW INFORMATION

- 2019.05.14 令和元年度 宇城消防署新機材整備完了について
- 2019.05.14 炎熱物燃焼
- 2019.05.09 令和元年度消防団員の日観望について
- 2019.04.25 消防団員士を表彰されている方へ
- 2019.02.20 消防用動力車運用

>> 新着情報一覧を見る

2019年6月17日(月) 現在				
昨日	火災		0件	
	救急		23件	
	救助		0件	
今月	火災	3件	今年累計	
	救急	282件		火災 24件
	救助	4件		救急 3048件
今日1日～現在の累計			1月1日～現在の累計	
		火災 0件	救助 51件	

★スペシャルコンテンツ

- ヘリコプター
- 宇城の災害の歴史
- Q&A

外部リンク

- 総務省消防庁
- 消防団
- 消防防災博物館
- 消防団

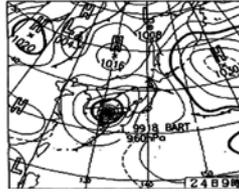
宇城広域連合消防本部ホームページ
(http://www.ukisyobo.or.jp)

◇ 管内一目統計

自然環境
人口・世帯



面積
406.91km²



気象
年間降雨量 1699.5mm
年平均気温 17.4℃



人口
105,777人



世帯数
44,007世帯

消防予算
構成・人事



消防予算
43億75,930千円
住民一人当たり41,369円



署所
消防本部 1
消防署 2
分署 5



職員数
定数 155人
実員 152人



消防団員数
実員 2,504人
(内女性隊員74人)

機械
施設



ポンプ車等
タンク車 1台
ポンプ車 7台
(ポンプ車非常用) 1台



特殊車両・その他車両
はしご車 1台
救助工作車 2台
化学車 1台
その他車両 17台



救急車
高規格救急車 9台
(高規格救急車非常用) 1台



消防水利
消火栓 1,863基
防火水槽 1,126基
その他消防水利 256

火救
災急
救助



火災 45件
8.1日に1件
損害額 34,030千円
救助 100件



出火原因
①たき火 11件
②配線器具 7件
③火入れ 6件



救急出場件数
6,535件
搬送人員 6,104人
1日当たり 17.9件



事故種別
①急病 60.0%
②転院搬送 17.4%
③一般負傷 13.0%

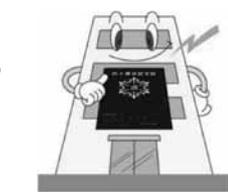
予防



防火対象物数
法17条 3,452件
防火管理者必要事業所数
法8条 880件



危険物施設数
製造所 6件
貯蔵所 232件
取扱所 169件



**防火対象物
定期点検報告制度**
特例認定事業所 10件
定期点検報告事業所 65件



防火クラブ
婦人防火クラブ 12
少年消防クラブ 9
幼年消防クラブ 23

◇ 令和元年度 各種行事

4月	1日	辞令交付式
	9日	熊本県消防長会臨時会（熊本県消防学校）
	9日	熊本県消防学校初任科第64期生74名 宇城（消防職8名、救急救命士職1名）入校式
	11日	熊本県消防長会春季総会（水俣芦北）
	19日	宇城広域消防連絡協議会（宝友）
	25日	全国消防長会九州支部春季役員会・総会（佐世保市）26日まで
5月	22日	宇城地域MC協議会総会（南消防署）
	27日	熊本県消防救助技術大会 陸上の部（熊本県消防学校）
	28日	全国消防長会総会（福岡市）29日まで
	29日	熊本県消防設備協会研修会（ホテル日航熊本）
	31日	熊本県消防殉職者慰霊祭（熊本市）
6月	4日	危険物安全協会災害資器材寄託式（消防本部）
	6日	甲種防火管理新規講習（南消防署）7日まで
	14日	熊本県消防長会指導指針検討会（熊本市消防局）
	28日	熊本県消防救助技術大会 水上の部（アクアドーム熊本）
7月	12日	危険物法定講習講師研修会（東京都）13日まで
	18日	危険物保安技術講習会（大阪市）19日まで
	19日	九州地区消防救助技術指導会（佐賀市）
	25日	少年消防クラブ消防士体験学習（消防本部）
8月	2日	消防財政実務研修会（宗像市）
	8日	熊本県消防長会総務担当課長会議（八代広域）9日まで
	22日	熊本県消防長会予防・危険物担当課長会議（人吉下球磨）23日まで
9月	7日	うき救急フェア2019（イオンモール宇城）
	12日	熊本県消防長会警防・通信担当課長会議（有明広域）13日まで
	22日	宇城広域連合消防職員採用1次試験（不知火中学校）
	26日	熊本県初任科64期生卒業式（熊本県消防学校）
	26日	熊本県消防長会救急担当課長会議（宇城広域）27日まで
	27日	九州支部予防事務担当者研修会（宮崎市）
10月	4日	秋の火災予防運動推進会議・ふれあいフェア打合せ会議（消防本部）
	7日	第1回宇城広域連合人権・同和問題研修会（南消防署）8日まで
	10日	熊本県消防長会秋季総会（熊本市）11日まで
	11日	消防実務講習会（別府市）
	16日	第1回安全運転技術研修（ホンダセーフティ&ライディングプラザ九州）17日まで
	18日	第6回宇城管内消防団員意見発表会（ウイング松橋）
	25日	熊本県違反是正事例研究会（熊本市消防局）

11月	2日	うき消防ふれあいフェア（宇土シティモール）
	7日	第2回安全運転技術研修（ホンダセーフティ&ライディングプラザ九州）8日まで
	9日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（宮崎県）10日まで
	10日	宇城広域連合消防職員採用2次試験（広域連合事務局）
	14日	全国消防長会九州支部消防長研修会・秋季役員会（那覇市）15日まで
	14日	安全運転教育研修（熊本南自動車学校）
	15日	屋外タンク実務担当者研修会（北九州市）
	20日	熊本県消防用設備等点検済表示制度管理委員会・幹事会（メルパルク）
	29日	宇城広域消防連絡協議会年末会議（宇城地域振興局）
12月	2日	九州地区警防実務研修会（福岡市消防学校）13日まで
	4日	宇城地域MC協議会救急業務高度化推進部会（南消防署）
	4日	第3回安全運転技術研修（ホンダセーフティ&ライディングプラザ九州）5日まで
	10日	熊本県危険物安全協会事務担当者会議（パレア）
1月	20日	九州地区予防実務研修会（福岡市消防学校）31日まで
2月	4日	春の火災予防運動推進会議（消防本部）
	7日	熊本県消防長会第2回臨時会（熊本市）
	13日	甲種防火管理再講習（消防本部）
	16日	宇城市消防団出初式（ウイングまつばせメインアリーナ）
	17日	宇城広域連合消防職員意見発表会（消防本部）
	23日	宇土市消防団消防点検（宇土市防災センター）
3月	8日	美里町消防点検（美里町カントリーパークグラウンド）新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	31日	退任式

◇ 位置と地勢

位置 東経 130度31分 北緯 32度38分
東西 48.6km 南北 18km

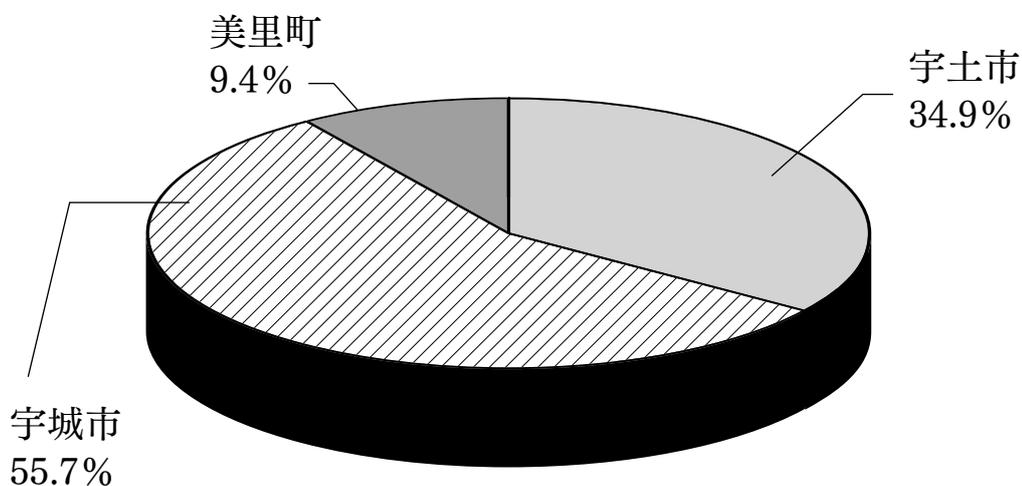
宇城広域連合は、宇土市・宇城市・下益城郡美里町の2市1町で構成されています。有明海に面した熊本県のほぼ中央に位置し、北は熊本市に隣接し、九州縦貫高速自動車道路が中心を縦走しています。その他、主な道路として国道3号線・57号線・218号線・266号線があり、なかでも57号線は天草、雲仙に至る主要観光ルートとなっています。

◇ 面積と人口

(令和2年4月1日現在)

市町別	区分	面積 (k㎡)	人口	世帯数	人口密度
宇土市		74.30	36,917	15,348	496.86
宇城市		188.61	58,936	24,423	312.48
美里町		144.00	9,924	4,236	68.92
計		406.91	105,777	44,007	259.95

各市町人口比率



◇ 消防の沿革

年	月	経 過 事 項	
昭和40	4	「宇土市外九ヶ町村衛生施設組合」設立	
	42	4 宇土市が常備消防化の政令で指定市となる 4 宇土市に宇土市消防本部・宇土市消防署を開設(職員18名) 4 初代消防長に宇土市助役中村篤氏就任	
44	6	宇土市の救急業務を開始	
45	6	中山正義氏消防長就任	
46	9	富合町の救急業務開始(宇土市との応援協定による)	
48	6	10か市町村で「宇城広域消防準備協議会」を設置	
49	4	「宇城広域消防衛生施設組合」と改称、消防救急業務を加える 4 初代組合長に大和忠三氏就任	
	4	三角町ほか8町村が常備消防化の政令で指定町村となる(人口131,979人、面積463.06km ²)	
	4	宇城広域消防本部・宇城消防署(宇土市消防庁舎で)を開設、業務開始	
	4	宇城広域消防本部初代消防長に奥村義人氏就任	
	4	消防職員定数104名と制定される	
	4	宇土市消防職員等38名、管外消防職員8名、新規職員採用16名 計62名で業務開始	
	4	第1回組合定例議会招集、組合予算及び条例議決	
	4	新規職員16名、初任科第15期派遣、同年6月卒業	
	5	組合臨時議会招集、東・中・西各分署建設工事の請負契約を議決	
	5	消防団との連絡協調のため「宇城広域消防連絡協議会」を設置	
	6	熊本県消防協会より広報車を配車	
	7	新規職員28名採用、初任科第16期派遣、同年9月卒業(実員90名)	
	7	中分署が仮庁舎にて業務開始	
	7	第1回熊本県消防救助技術大会開催(4名出場)	
	8	日本船舶協会より救急車の寄贈	
	9	東・中・西各分署庁舎落成	
	10	東・中・西各分署開署・業務開始	
	12	日本自動車工業会より救急車寄贈	
50	4	新規職員14名採用、初任科第17期派遣、同年7月卒業(実員104名)	
	10	本部・本署庁舎建設を2か年継続事業として着工	
51	6	三角海上保安部との間に「海上における船舶火災の消防活動に関する業務協定」締結	
	6	消防本部・本署庁舎落成、移転、業務開始	
52	2	初代消防長奥村義人氏退任、次長田中昭氏が消防長職務代理者に就任	
	7	万坂トンネルにおける事故発生時の応援協定締結	
	11	全国火災予防運動週間に伴い、防火ポスターコンクールを実施	
53	2	熊本県下一円第二次救急医療体制発足	
	4	第1回熊本県消防職員意見発表会で坂下勲消防士が最優秀賞(九州大会努力賞)	
	5	第2代消防長に田中昭氏就任	
	5	第7回全国消防救助技術大会(千葉市)陸上の部「ほふく救出」、水上の部「人命救助A」出場	
	8	日本消防協会より救急車寄贈	
	10	九州自動車道における消防相互応援協定締結	
	12	九州自動車道松橋IC開通に伴い中分署救急隊設置	
	12	消防職員定数(104名を111名に)条例改正	
	54	4	熊本県防災行政無線開通(本署)
		4	新規職員8名採用、初任科第22期派遣、同年10月卒業(実員111名)
8		第8回全国消防救助技術大会(大阪市)陸上の部「はしご登はん」、水上の部「人命救助A」「人命救助B」出場	
9		組合臨時議会招集(消防業務を除く天明町加入による規約改正等議決)	

年	月	経 過 事 項
55	2	本署:はしご車(24m級)購入(107号車)
	3	本署:日本損害保険協会より化学車寄贈(103号車)
	3	はしご車車庫建設、訓練用水槽設置(本署)
	8	第9回全国消防救助技術大会(名古屋市)陸上の部「ほふく救出」出場
	9	熊本県危険物安全協会宇城支部結成
56	4	教材「消防のしごと」を作成、管内小学校4年生全員に無償配布
	6	火災の激増により特別火災予防運動を行う(1か月)
	8	第10回全国消防救助技術大会(横浜市)陸上の部「はしご登はん」「ほふく救出」出場
57	12	消防職員定数(111名を121名に)条例改正
	4	新規職員12名採用、初任科第25期派遣、同年10月卒業(実員121名)
58	4	大和忠三氏組合長退任
	4	田代捨己氏組合長就任
	6	第1回婦人防火教室を開催
	8	第11回全国消防救助技術大会(横浜市)陸上の部「ほふく救出」出場
	10	城南分駐所庁舎落成、開所、業務開始
59	3	(社)日本自動車工業会より救急車寄贈
	4	新規職員1名採用、初任科第26期派遣、同10月卒業(実員121名)
	4	4週5休制試行
	8	第12回全国消防救助技術大会(大阪市)水上の部「基本泳法」出場
60	9	新規職員1名補充採用(実員121名)
	2	60歳定年制条例制定(昭和60年3月31日から施行)
	4	新規職員1名採用、初任科第27期派遣、同10月卒業(実員121名)
61	8	第15回熊本県消防ポンプ操法大会(ポンプ車の部)優勝:三角町消防団(第6・8回以来3回目)
	3	県農業共済組合連合会より救急車寄贈
	6	第11回熊本県消防救助技術大会「水上の部」を宇土市で開催
	8	第14回全国消防救助技術大会(広島市)水上の部「基本泳法」出場
	9	火災情報テレホンサービス開始(10回線TEL23-3211)
62	7	第12回熊本県消防救助技術大会「水上の部」を宇土市で開催
	8	日本消防協会より救急車の寄贈
	8	第16回熊本県消防ポンプ操法大会(小型ポンプの部)優勝:中央町消防団(第2・5回以来3回目)
	9	皇太子、同妃両殿下行啓特別警備本部設置
63	12	救急救助活動に関する消防応援協定締結
	1	特別救助隊設置(本署)
	4	4週5休制本行
	7	宇城幼少年婦人防火委員会発足
	4	特別救助隊設置(中分署)
平成 元年	3	救助工作車購入、本署に配備
	4	消防署長宮本眞津夫氏、消防長職務代理者に就任
	7	第15回熊本県消防救助技術大会「水上の部」を宇土市で開催
	9	第1回「宇城救急フェア」を宇土市で開催
	10	第1回宇城地区幼年消防大会を宇土市で開催
2	1	4週6休制実施
	3	県農業共済組合連合会より救急車寄贈
	4	新規職員5名採用、初任科第33期派遣、同年10月卒業(実員121名)
	4	本部旗制定
	4	田代捨己氏組合長退任
	4	西田誠氏組合長就任

年	月	経 過 事 項
2	6	宇土市と「緊急通報システム事業委託契約」締結
	7	皇太子殿下啓特別警備本部設置
	8	第1回少年消防クラブ消防署体験学習を開催(1泊2日)
3	9	第18回熊本県消防ポンプ操法大会(小型ポンプの部)優勝:松橋町消防団
	4	三角町、不知火町、城南町と「緊急通報システム事業委託契約」締結
	6	雲仙普賢岳噴火に伴い津波警戒(6月13日～11月30日)
4	8	第20回全国消防救助技術大会(大阪市)水上の部「人命救助」出場
	1	第3代消防長に宮本眞津夫氏就任
	2	熊本県消防大会を宇土市で開催
5	3	消防職員定数(121名を131名に)条例改正
	3	通信指令庁舎落成
	6	第1回幼稚園、保育園指導者防火教室開催
6	9	東分署:日本損害保険協会より消防ポンプ車寄贈(202号車)
	10	城南町婦人消防隊、全国婦人消防操法大会で優良賞受賞
	3	消防緊急通信指令施設稼動
7	3	消防職員定数(131名を133名に)条例改正
	4	完全週休2日制実施(4週8休)
	4	管内市町村と初の人事交流(2名)
8	4	新規職員12名採用、初任科第36期派遣、同年10月卒業(実員133名)
	4	第16回県消防職員意見発表会で島松一步消防士 最優秀賞(九州大会 優秀賞)
	5	県農業共済組合連合会より救急車の寄贈
9	5	通信指令庁舎落成式
	8	第22回全国消防救助技術大会(福岡市)水上の部「基本泳法」出場
	4	新規職員1名採用、初任科第37期派遣、同年10月卒業(実員133名)
10	4	救急救命士資格取得、第1号誕生(前田修一消防副士長)
	4	豊野分署開署、業務開始
	4	城南分駐所を城南分署に名称変更
11	5	豊野分署庁舎落成式
	8	第23回全国消防救助技術大会(京都市)水上の部「人命救助」「溺者搬送」出場
	11	宇城幼少年婦人防火委員会、日本防火協会より優良団体として受賞
12	3	消防職員定数(133名を143名に)条例改正
	3	宇城広域消防衛生施設組合設立20周年記念誌「20年のあゆみ」を発刊
	4	新規職員12名採用、初任科第38期派遣、同年10月卒業(実員143名)
1	2	住民に対する応急手当普及啓発を目的に普通救命講習会を開催
	3	本署:高規格救急車に更新(105号車)
	4	網田分署開署、業務開始
2	5	網田分署庁舎落成式
	6	第1回シルバー-防火教室を開催
	6	第23回熊本県消防救助技術大会「水上の部」宇土市で開催
3	8	第26回全国消防救助技術大会(千葉市)水上の部「人命救助」出場
	4	第4代消防長に伊藤年一氏就任
	4	新規職員3名採用、初任科第41期派遣、同年10月卒業(実員143名)
4	4	西分署:県農業共済連合会より救急車寄贈(405号車)
	4	西田誠氏組合長退任
	5	田口信夫氏組合長就任
5	8	第27回全国消防救助技術大会(大阪市)陸上の部「斜めブリッジ救助」出場
	3	中分署:日本損害保険協会より高規格救急車の寄贈(305号車)

年	月	経 過 事 項
11	4	新規職員4名採用、初任科第42期派遣、同年10月卒業(実員142名)
	9	台風18号による高潮被害で不知火町松合地区甚大な被害、12名が死亡
	10	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練初参加
	11	第7回熊本県幼年消防大会を宇土市で開催
12	3	消防職員定数(143名を153名に)条例改正
13	1	本部、署内の情報ネットワーク化開始
	4	第5代消防長に渡辺正孝氏就任
14	4	熊本県防災消防航空隊へ隊員1名出向(平成15年3月まで)
	4	新規職員12名採用、初任科第44期派遣、同年10月卒業(実員153名)
	8	熊本県防災消防航空隊と合同救急搬送訓練実施(宇土市防災センター)
	8	第30回全国消防救助技術大会(東京都)水上の部「人命救助」出場
	9	皇太子殿下、不知火町松合高潮被災地ご視察
	10	熊本県消防長会秋季総会(宇土マリーナ)
	1	「うき防災フェア'02」開催(宇土市民会館)
	4	第6代消防長に松浦孝一氏就任
	4	小川分署開署、業務開始
	4	新規職員2名採用(実員153名)
15	5	小川分署庁舎落成式
	5	元消防長田中昭氏勲5等瑞宝章を受章
	7	第28回熊本県消防救助技術大会「水上の部」を宇土市で開催
	11	宇城広域消防衛生施設組合職員に対し衛生管理委員会発足
	12	大規模災害救急救助訓練実施(宇土市体育館周辺)
	1	「うき防災フェア'03」開催(松橋町:ウイングまつばせ)
	3	宇城広域消防本部マスタープラン策定
	3	熊本県防災消防航空隊へ出向中の隊員出向期間を終了
	4	第7代消防長に磯部義昭氏就任
	4	熊本県防災消防航空隊へ隊員1名出向(平成17年3月まで)
	5	SARS対策マニュアル策定
16	6	第2回熊本県救急教育セミナー開催(松橋町:ウイングまつばせ)
	7	水俣市土石流災害で熊本県消防相互応援協定により捜索活動実施
	11	宇城広域消防本部公式ホームページ開設
	1	「うき防災フェア'04in城南」開催(城南町:火の君総合文化センター)
	6	高機能消防総合指令センター運用開始
	8	第16回全国農業青年交換大会に皇太子殿下御来熊特別警備本部設置(中央町役場で御休憩)
	9	「宇城救急フェア2004」開催(小川町ダイヤモンドシティ)
	10	宇城広域消防本部発足30周年及び高機能消防通信指令センター落成記念式
	10	宇城広域消防衛生施設組合創立30周年記念誌「30周年のあゆみ」を発刊
	10	小木保育園幼年消防クラブ鼓笛隊セット寄託式(城南町)
17	11	中央町・砥用町が合併し「美里町」誕生
	11	美里町消防団が発足。11分団、団員総数660名。初代団長に渡辺次義氏就任
	1	不知火町・三角町・松橋町・小川町・豊野町が合併し「宇城市」が誕生
	1	宇城消防職員意見発表会開催(宇城市小川町「ラポート」)
	1	「うき防災フェア'05in小川」開催(宇城市小川町「ラポート」)
	1	本署:30m級先端屈折はしご付き消防自動車に更新・納車(107号車)
	4	第8代消防長に杉本貴美男氏就任
	5	宇城MC協議会主催「大規模災害対応訓練」を実施
	9	「宇城救急フェア2005」開催(宇城市小川町「ダイヤモンドシティ熊本南」)

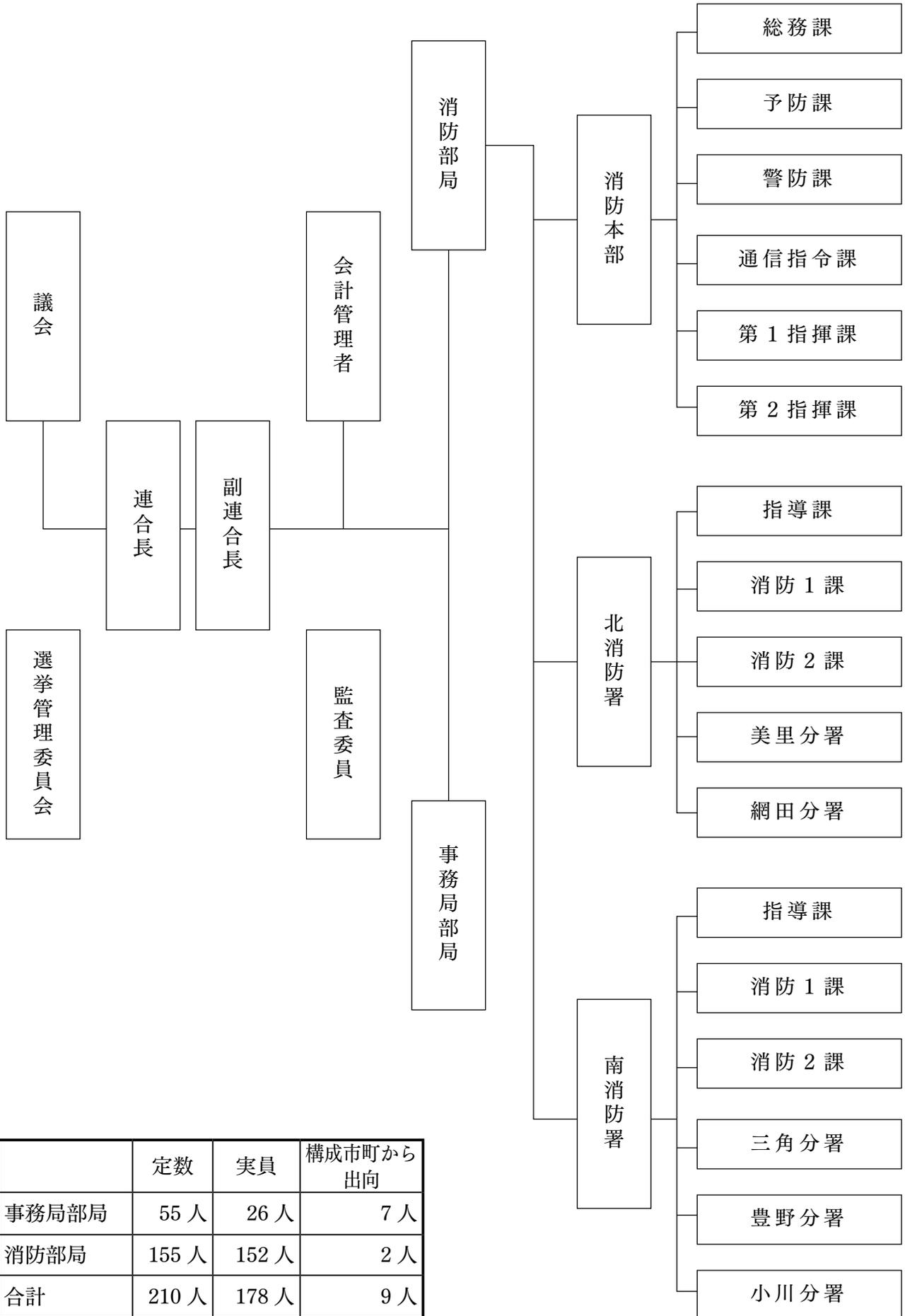
年	月	経 過 事 項
17	10	西分署:CAFS搭載ポンプ車に更新(402号車)
	10	第17回全国女性消防操法大会(横浜市)宇土市女性消防隊、準優勝
	11	第7回熊本県下消防大規模災害対応訓練を宇城市三角町で開催
18	11	豊野分署:高規格救急車に更新(605号車)
	1	「うき防災フェア'06in富合」開催(富合町役場前及び「アスパル富合」)
	1	東分署:高規格救急車に更新(205号車)
	3	熊本県防災消防航空隊へ出向中の隊員出向期間を終了
	4	新規職員5名採用(消防職4名、救急救命士職1名)、初任科第49期派遣(実員154名)
	4	第29回熊本県消防職員意見発表会を富合町「アスパル富合」で開催
	8	第35回全国消防救助技術大会(札幌市)陸上の部「ロープブリッジ救出」出場
	9	「宇城救急フェア2006」開催(宇土市「宇土シティ」)
	11	第1回宇城地区女性消防軽可搬ポンプ操法大会開催(宇土市防災センター)
	11	まこと幼稚園幼年消防クラブ鼓笛隊セット寄託式(宇城市松橋町)
	11	東分署:CAFS搭載ポンプ車に更新(202号車)
19	12	元消防司令長、本田勝嘉氏(危険業務従事者叙勲)瑞宝単光章を受章
	1	「うき防災フェア'07in美里」開催(美里町役場中央庁舎)
	1	網田分署:高規格救急車に更新(805号車)
	4	宇城管内五つの一部事務組合と宇城広域連合が統合される
	4	宇城広域連合との統合により「宇城広域消防衛生施設組合」から「宇城広域連合」へ
	4	初代連合長に田口信夫氏就任
	4	第9代消防長に中島幸義氏就任
	4	熊本県防災消防航空隊へ隊員1名出向(平成22年3月まで)
	4	新規職員6名採用(消防職6名)、初任科第50期派遣(実員155名)
	7	美里町豪雨災害で早楠地区、柏川地区、坂本地区他甚大な被害
	8	第36回全国消防救助技術大会(東京都)陸上の部「ロープブリッジ救出」出場
	9	「宇城救急フェア2007」開催(宇城市小川町「ダイヤモンドシティ・パリュール」)
	10	第2回宇城地区女性消防軽可搬ポンプ操法大会開催(宇城市豊福グラウンド)
10	第一幼稚園幼年消防クラブ鼓笛隊セット寄託式(富合町)	
11	南消防署庁舎落成式、救助工作車配備	
11	三角分署:高規格救急車に更新(405号車)	
20	1	「うき防災フェア'08in宇土」開催(宇土市民体育館周辺)
	4	新規職員7名採用(消防職5名、救急救命士職2名内女性消防士2名)初任科第51期派遣(実員159名)
	5	元消防司令長中島義春氏、元消防司令長岩村克己氏(危険業務従事者叙勲)瑞宝単光章を受章
	8	第37回全国消防救助技術大会(北九州市)陸上の部「はしご登はん」「引揚救助」出場
	9	「宇城救急フェア2008」開催(宇土市「宇土シティ」)
	10	わかき保育園幼年消防クラブ鼓笛隊セット寄託式(宇城市三角町)
	11	元消防正監宮本眞津夫氏(危険業務従事者叙勲)瑞宝双光章を受章
12	城南分署:高規格救急車に更新(505号車)	
21	1	「うき防災フェア'09in宇城」開催(宇城市役所周辺)
	2	宇城広域消防本部携帯サイト運用開始
	4	第10代消防長に河野富寛氏就任
	4	新規職員5名採用(消防職4名、救急救命士職1名内女性消防士1名)初任科第52期派遣(実員160名)
	8	FAX119番・Eメール119番運用開始
	8	第1回熊本県女性消防操法大会開催(城南町「火の君総合文化センター」)
	10	第19回全国女性消防操法大会(横浜市)美里町女性消防隊、準優勝
11	元消防監佐方大和氏(危険業務従事者叙勲)瑞宝双光章受章	
22	1	「うき防災フェア'10in城南」開催(城南町:火の君総合文化センター)

年	月	経 過 事 項
22	4	第11代消防長に橘忠義氏就任
	4	新規職員12名採用(消防職10名、救急救命士職2名)初任科第53期派遣(実員162名)
	4	元消防正監渡辺正孝氏、元消防監前田大和氏(危険業務従事者叙勲)瑞宝双光章受章
	4	田口信夫氏退任
	4	篠崎鐵男氏就任
23	11	元消防監高山正辰氏(危険業務従事者叙勲)瑞宝単光章受章
	1	「うき防災フェア'11in美里」開催(美里町役場中央庁舎)
	3	緊急消防援助隊宇城隊(第1次、第2次計12名、車両2台)が東日本大震災の被災地(宮城県仙台市)へ出動(3月14日から3月23日まで)
	4	新規職員8名採用(消防職8名)初任科第54期派遣(実員163名)
	4	指揮隊設置(南消防署配置)
24	8	第2回熊本県女性消防操法大会開催(宇城市役所)
	10	第20回全国女性消防操法大会(横浜市)美里町女性消防隊、準優勝
	11	元消防正監松浦孝一氏(危険業務従事者叙勲)瑞宝双光章受章
	1	小川分署:救急車を高規格救急車に更新(905号車)
	1	「うき防災フェア'12in宇土」開催(宇土シティモール)
25	2	携帯電話位置情報システム(統合型)運用開始
	2	南消防署:化学消防車を更新(303号車)
	3	「うき防火防災写真展」開催(宇土シティモール)
	4	新規職員9名採用(消防職8名、救急救命士職1名)初任科第55期派遣(実員161名)
	7	九州北部大災害による大規模災害応援(阿蘇市)
26	9	熊本県下大規模災害対応訓練参加(吉無田高原)
	10	堅志田保育園幼年消防クラブ和太鼓セット寄託式(美里町)
	12	北消防署:ポンプ車(102号車)、南消防署ポンプ車(302号車)更新
	1	「うき防災フェア'13in宇城」開催(宇城市役所)
	2	篠崎鐵男氏退任
27	2	守田憲史氏就任
	4	第12代消防長に坂下勲氏就任
	4	新規職員7名採用(消防職7名)内6名初任科第56期派遣(実員161名)
	4	宇城広域連合へ人事交流のため1名派遣(2年間)
	8	第42回全国消防救助技術大会(広島市)陸上の部「はしご登はん」出場
28	10	小木保育園幼年消防クラブ和太鼓セット寄託式(城南町)
	11	熊本県下消防大規模災害対応訓練参加(水俣市)
	11	宇城市婦人防火クラブが自治体消防65周年記念表彰受賞
	1	「うき防災フェア'14in美里」開催(美里町役場中央庁舎)
	2	北消防署:資機材搬送車(110号車)更新
29	3	高機能消防指令センター・消防救急デジタル無線システム運用開始
	3	熊本市が宇城広域連合から脱退(熊本市南区富合町・城南町が管轄から外れる)
	4	新規職員4名採用(消防職3名、救急救命士職1名)内3名初任科第58期派遣(実員152名)
	4	熊本県防災消防航空隊1名派遣(3年間)
	4	元消防司令堀田正男氏(危険業務従事者叙勲)瑞宝双光章受章
30	7	宇城市小川町「松崎製材所」火災
	9	砥用音楽幼稚園幼年消防クラブ鼓笛隊セット寄託式(美里町)
	1	「うき防災フェア'15in宇土」開催(宇土シティモール)
	2	北消防署:高規格救急車(105号車)更新
	4	新規職員7名採用(消防職5名、救急救命士職2名)内6名初任科第59期派遣(実員150名)
9	初任科第60期1名派遣(平成28年2月卒業)	

年	月	経 過 事 項
27	9	轟保育園幼年消防クラブ鼓笛セット寄託式(宇土市)
	10	熊本県下消防大規模災害対応訓練参加(阿蘇市)
	11	元消防監中園久道氏(危険業務従事者叙勲)瑞宝双光章受章
28	1	「うき消防ふれあいフェア」開催(イオンモール宇城):防災フェアから名称変更
	4	第13代消防長に岩本和也氏就任
	4	新規職員7名採用(消防職6名、救急救命士職1名)初任科第61期派遣(実員145名)
	4	再任用制度運用開始(再任用職員6名採用)
	4	平成28年熊本大震災により県下に甚大な被害が発生
	6	集中豪雨による土砂災害で人的被害が発生(宇土市住吉町、椿原町)
	8	第45回全国消防救助技術大会(松山市)陸上の部「応用登はん」、水上の部「基本泳法」出場
	11	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(長崎県島原市)
29	11	「うき消防ふれあいフェア」開催(宇土シティモール)
	3	消防本部警防課:指令車(701号車)、南消防署:指令車(301号車)、南消防署:高規格救急車(305号車)、美里分署:高規格救急車(205号車)更新
	4	新規職員5名採用(消防職4名、救急救命士職1名)初任科第62期派遣(実員145名)
	5	元消防監中島幸義氏・元消防司令長黒田健次氏(危険業務従事者叙勲)瑞宝双光章受章
	7	緊急消防援助隊宇城隊(第1次から第7次計37名)が九州北部豪雨のため(福岡県朝倉市・大分県日田市)へ出動(7月5日から7月25日まで)
	9	「うき救急フェア2017」開催(イオンモール宇城)
	10	正副連合長先進地視察研修(茨城県)
	11	元消防司令長野口幸氏(危険業務従事者叙勲)瑞宝双光章受章
	11	「うき消防ふれあいフェア」開催(宇土シティモール)
	11	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(佐賀県武雄市)
	11	消防本部:連絡車(704号車)、豊野分署:高規格救急車(605号車)、網田分署:高規格救急車(805号車)、三角分署:高規格救急車(405号車)更新
30	3	幼年消防クラブ「防火啓発パレード」実施(イオンモール宇城)
	3	自治体消防制度70周年記念式典及び自治体活性化大会(東京都墨田区:国技館)
	4	新規職員2名採用(消防職2名)初任科第63期派遣(実員63名)
	6	宇城広域連合消防本部・北消防署新庁舎耐震建設基本構想策定
	8	第47回全国消防救助技術大会(京都市)陸上の部「ほふく救出」(台風20号等の影響により中止)
	9	「うき救急フェア2018」開催(イオンモール宇城)
	11	「うき消防ふれあいフェア」開催(イオンモール宇城)
31	11	消防本部:予防査察車(702号車)更新
	3	美里分署:連絡車(201号車)更新
	3	宇城広域連合消防本部・北消防署新庁舎耐震建設基本計画策定
	4	第14代消防長に坂本勝夫氏就任
令和 元年	4	新規職員10名採用(消防職9名、救急救命士職1名)内9名初任科第64期派遣(実員152名)
	5	元消防監河野富寛氏(危険業務従事者叙勲)瑞宝双光章受章
	8	緊急消防援助隊宇城隊(第1次隊10名)が令和元年佐賀豪雨のため佐賀県武雄市へ出動(8月28日から8月31日まで)
	9	「うき救急フェア2019」開催(イオンモール宇城)
	11	「うき消防ふれあいフェア」開催(宇土シティモール)
2	3	南消防署:救助工作車(308号車)更新
	3	総務省消防庁から無償貸与された緊急消防援助隊の中型水陸両用車及び搬送車を県内(九州)で初めて導入し南消防署に配備

◇ 宇城広域連合機構図

(令和2年4月1日現在)



	定数	実員	構成市町から 出向
事務局部局	55人	26人	7人
消防部局	155人	152人	2人
合計	210人	178人	9人

◇ 定数及び任期

	関係市町名	議員	連合長	副連合長	会計管理者	監査委員
定数	宇土市	3	関係市町の長のうちから、関係市町の長が投票によりこれを選挙する。	広域連合長に選任された市町の長以外の関係市町の長をもって充てる。	広域連合長の補助機関である職員のうちから、広域連合長が命ずる。	識見を有する者 2名
	宇城市	5				
	美里町	2				
	計	10				
任期	関係市町の議会の議員として任期とする。		広域連合長及び副広域連合長の任期は、関係市町の長としての任期による。		—	識見を有する者 4年 広域連合議員 議員の任期

◇ 歴代組合長及び連合長

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	大和 忠三	昭和49年 4月 1日	昭和57年 4月28日
第二代	田代 捨己	昭和57年 4月30日	平成 2年 4月28日
第三代	西田 誠	平成 2年 4月29日	平成10年 4月28日
第四代	田口 信夫	平成10年 5月 8日	平成19年 3月31日
初代連合長	田口 信夫	平成19年 4月 1日	平成22年 4月28日
第二代	篠崎 鐵男	平成22年 4月30日	平成25年 2月26日
第三代	守田 憲史	平成25年 2月27日	現在に至る

◇ 歴代消防長

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	奥村 義人	昭和49年4月1日	昭和52年2月 1日
第2代	田中 昭	昭和53年5月1日	平成元年3月31日
第3代	宮本 眞津夫	平成 4年1月1日	平成10年3月31日
第4代	伊藤 年一	平成10年4月1日	平成13年3月31日
第5代	渡辺 正孝	平成13年4月1日	平成14年3月31日
第6代	松浦 孝一	平成14年4月1日	平成15年3月31日
第7代	磯部 義昭	平成15年4月1日	平成17年3月31日
第8代	杉本 貴美男	平成17年4月1日	平成19年3月31日
第9代	中島 幸義	平成19年4月1日	平成21年3月31日
第10代	河野 富寛	平成21年4月1日	平成22年3月31日
第11代	橘 忠義	平成22年4月1日	平成25年3月31日
第12代	坂下 勲	平成25年4月1日	平成28年3月31日
第13代	岩本 和也	平成28年4月1日	平成31年3月31日
第14代	坂本 勝夫	平成31年4月1日	現在に至る

◇ 消防庁舎の現況（1）



署 所 名	消防本部・北消防署
所 在 地	宇土市新松原町 159-1
構 造	鉄筋コンクリート造 2階建
建 築 面 積	634.9㎡
延 べ 面 積	1,175.4㎡
敷 地 面 積	4,594.3㎡
建 築 年 月 日	昭和 51 年 6 月 30 日



署 所 名	通信指令棟
所 在 地	宇土市新松原町 159-1
構 造	鉄筋コンクリート造 2階建
建 築 面 積	145.5㎡
延 べ 面 積	296.1㎡
敷 地 面 積	4,594.3㎡
建 築 年 月 日	平成 4 年 3 月 13 日



署 所 名	南消防署
所 在 地	宇城市松橋町豊崎 1547-1
構 造	鉄筋コンクリート造 2階建
建 築 面 積	1,029.7㎡
延 べ 面 積	1,552.7㎡
敷 地 面 積	11,408.0㎡
建 築 年 月 日	平成 19 年 10 月 30 日



署 所 名	美里分署
所 在 地	下益城郡美里町大窪 837-5
構 造	鉄筋コンクリート造平屋建
建 築 面 積	272.0㎡
延 べ 面 積	260.2㎡
敷 地 面 積	975.6㎡
建 築 年 月 日	昭和 49 年 9 月 30 日

◇ 消防庁舎の現況（2）



署 所 名	三角分署
所 在 地	宇城市三角町中村 102-3
構 造	鉄筋コンクリート造平屋建
建 築 面 積	316.0㎡
延 べ 面 積	299.7㎡
敷 地 面 積	976.0㎡
建 築 年 月 日	昭和 49 年 9 月 30 日



署 所 名	豊野分署
所 在 地	宇城市豊野町山崎 385-1
構 造	鉄筋コンクリート造平屋建
建 築 面 積	331.2㎡
延 べ 面 積	315.5㎡
敷 地 面 積	3,637.1㎡
建 築 年 月 日	平成 6 年 3 月 10 日



署 所 名	網田分署
所 在 地	宇土市上網田町 3651-1
構 造	鉄骨造平屋建
建 築 面 積	397.1㎡
延 べ 面 積	363.5㎡
敷 地 面 積	2,958.0㎡
建 築 年 月 日	平成 8 年 2 月 29 日



署 所 名	小川分署
所 在 地	宇城市小川町南部田 130-1
構 造	鉄筋コンクリート造平屋建
建 築 面 積	442.8㎡
延 べ 面 積	368.6㎡
敷 地 面 積	2,884.0㎡
建 築 年 月 日	平成 14 年 3 月 15 日

◇ 常備消防予算の概要

(歳入)

(単位：千円)

款	項	令和2年度	令和元年度	比較	伸率(%)
分担金及び負担金	負担金	2,020,011	1,640,148	379,863	23.16
使用料	使用料	252	252	0	0.00
手数料	手数料	5,000	5,000	0	0.00
国庫支出金	国庫補助金	0	0	0	
県支出金	委託金	268	160	108	67.50
財産収入	財産運用収入	11	11	0	0.00
繰入金	基金繰入金	8,380	8,460	△80	△0.95
諸収入	雑入	6,708	6,949	△241	△3.47
広域連合債	広域連合債	2,335,300	230,700	2,104,600	912.27
歳入合計		4,375,930	1,891,680	2,484,250	131.33

(歳出)

(単位：千円)

款(目)	令和2年度	令和元年度	比較	伸率(%)
消防費(常備消防費)	1,328,033	1,319,116	8,917	0.68
消防費(消防施設費)	2,953,034	471,618	2,481,416	526.15
公債費	90,863	96,946	△6,083	△6.27
予備費	4,000	4,000	0	0.00
歳出合計	4,375,930	1,891,680	2,484,250	131.33

令和2年度市町別一般会計予算と消防予算(当初)

(単位：百万円)

市町	区分	一般会計予算	消防費予算	消防費内訳			一般会計と消防費の比率(%)
				常備	非常備	その他	
宇土市		19,480.0	1,106.1	916.0	103.8	86.3	5.68
宇城市		33,987.4	1,515.2	887.0	150.7	477.5	4.46
美里町		6,987.0	344.1	214.7	98.5	30.9	4.92
合計		60,454.4	2,965.4	2,017.7	353.0	594.7	4.91

消 防 現 況

- ◇ 事務分掌
- ◇ 消防職員の状況
- ◇ 年齢別職員数
- ◇ 勤続年数別職員数
- ◇ 消防力の整備指針による
基準消防力と現有消防力
- ◇ 消防力現勢配置図
- ◇ 協定書に基づく応援等について
- ◇ 階級別特殊技能取得状況
- ◇ 消防資器材の現有状況
- ◇ 消防通信系統図
- ◇ 119受信状況
- ◇ 気象状況



高機能消防指令センター 消防救急デジタル無線システム

(平成26年3月運用開始)



事務分掌（消防本部）

（令和2年4月1日現在）

総務課	財政係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 渉外に関する事。 (2) 予算その他財政一般に関する事。 (3) 庁舎及び諸施設の維持管理に関する事。 (4) 予算の経理に関する事。 (5) 職員の給与に関する事。 (6) 貸与品に関する事。 (7) 物品の出納、保管、購入契約等に関する事。 (8) 職員の公務災害及び健康管理に関する事。 (9) 公印に関する事。 (10) 会計支払、支出負担行為調書及び支出証票に関する事。 (11) 旅費の請求に関する事。 (12) 経理に関する事。 (13) 文書の収発、分類及び整理に関する事。 (14) その他財政係の分掌として適当とする事項。
	総務係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 職員の定数、配置、人事及び勤務に関する事。 (2) 消防長会及び消防協会の事務に関する事。 (3) 消防職員委員会に関する事。 (4) 職員の福利厚生に関する事。 (5) 職員の任免、分限、懲戒、服務、賞罰その他身分に関する事。 (6) 職員の採用試験、昇任試験等に関する事。 (7) 職員の人事記録の管理に関する事。 (8) 職員の研修、教養及び監察に関する事。 (9) 叙勲及び各種表彰に関する事。 (10) 職員育成に関する調査研究に関する事。 (11) その他総務係の分掌として適当とする事項。
	企画広報係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 組織制度及び組織運営に係る企画調査研究並びに総合企画調整の実施に関する事。 (2) 消防関係例規の成案審査、制定手続等に関する事。 (3) 消防統計に関する事。 (4) 消防行政の調査研究に関する事。 (5) 月刊誌及び季刊誌の発行に関する事。 (6) 消防広報に関する事。 (7) 消防年報の作成に関する事。 (8) ホームページの運営に関する事。 (9) その他企画広報係の分掌として適当とする事項。
予防課	危険物係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 危険物製造所等の許可・認可等の規制及び検査・指導に関する事。 (2) 危険物取扱者の指導育成に関する事。 (3) 危険物施設の違反処理に関する事。 (4) 指定可燃物の規制に関する事。 (5) 少量危険物の規制に関する事。 (6) 液化石油ガス等に関する事。 (7) 電気工作物に関する事。 (8) 火薬類消費許可等に関する事。 (9) 高圧ガスに関する事。 (10) 危険物安全協会の推進に関する事。 (11) その他危険物係の分掌として適当とする事項。

予 防 課	予 防 係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 防火防災思想の普及指導及び防火広報に関すること。 (2) 防火対象物の調査・検査及び指導に関すること。 (3) 防火対象物の違反処理に関すること。 (4) 建築確認の同意事務に関すること。 (5) 防火管理者の講習及び育成指導に関すること。 (6) 消防用設備等及び火気設備の指導に関すること。 (7) 自主防災組織の事務に関すること。 (8) 予防関係届出等の指導及び処理に関すること。 (9) 火災予防及び運動等の事務に関すること。 (10) 防火委員会及び消防協会の事務に関すること。 (11) その他予防係の分掌として適当とする事項。
警 防 課	警 防 係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 警防対策、計画の調査、研究、立案及び実施に関すること。 (2) 非常災害時の対策に関すること。 (3) 国民保護に関すること。 (4) 消防相互応援に関すること。 (5) 火災調査に関すること。 (6) 火災等の災害報告及びその統計に関すること。 (7) り災証明に関すること。 (8) 消防団に関すること。 (9) 消防用車両、機械器具の登録、検査、維持、管理等に関すること。 (10) 職員の教養及び安全管理に関すること。 (11) 開発行為の協議に関すること。 (12) 救助業務、計画、訓練、統計、研究及び指導に関すること。 (13) 水難救護に関すること。 (14) その他警防係の分掌として適当とする事項。
	救 急 係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 救急業務、計画、訓練、統計、研究及び指導に関すること。 (2) 応急手当の普及啓発に関すること。 (3) 救急医療機関との連絡調整に関すること。 (4) メディカルコントロール体制の推進に関すること。 (5) 救急事後検証に関すること。 (6) その他救急係の分掌として適当とする事項。
通 信 指 令 課	通 信 係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 消防通信の運用に関すること。 (2) 消防通信施設及び器具の整備保全並びに管理運用に関すること。 (3) 消防通信に係る調査及び研究に関すること。 (4) 防災行政無線の運用に関すること。 (5) その他通信係の分掌として適当とする事項。
	情 報 管 理 係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 火災、救急その他災害現場の指令管制及び支援情報の伝達等に関すること。 (2) 気象情報、災害情報等及び救急医療情報の収集、連絡に関すること。 (3) 関係機関への連絡に関すること。 (4) 職員の非常招集に関すること。 (5) 火災等災害統計に関すること。 (6) その他情報管理係の分掌として適当とする事項。
指 揮 課		<ul style="list-style-type: none"> (1) 各種情報の収集及び整理に関すること。 (2) 災害等の実態把握に関すること。 (3) 出場隊の把握及び安全管理に関すること。 (4) 災害現場広報に関すること。 (5) 職員の安全管理及び技能指導に関すること。 (6) 警防訓練計画の策定に関すること。 (7) 関係資料の確保及び関係機関との連携に関すること。 (8) その他指揮課の分掌として適当とする事項。

◇ 事務分掌（消防署）

指導課	指導係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 署員の教養及び教育訓練に関すること。 (2) 予防事務に関すること。 (3) 自主防災並びに防火思想の普及啓発及び指導育成に関すること。 (4) その他指導係の分掌として適当とする事項。
消防課	消防係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 警防計画及び訓練に関すること。 (2) 火災の警戒防ぎよに関すること。 (3) 水火災その他特殊災害に関すること。 (4) 消防地理及び水利に関すること。 (5) 火災の原因及び損害の調査に関すること。 (6) 火災業務の報告及び統計に関すること。 (7) 消防機械器具の維持管理に関すること。 (8) 車両の運行管理に関すること。 (9) 消防団の訓練指導に関すること。 (10) 署員の教養及び教育訓練に関すること。 (11) 予防事務に関すること。 (12) 庁舎施設見学に関すること。 (13) 管内住民、事業所、団体等の消防訓練指導事務及び防火防災思想の普及指導及び育成に関すること。 (14) 消防広報及び消防相談に関すること。 (15) 署員の服務、規律及び教養に関すること。 (16) その他消防係の分掌として適当とする事項。
	救急係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 救急業務に関すること。 (2) 救急訓練計画及び指導実施に関すること。 (3) 救急業務の報告及び統計に関すること。 (4) 救急資機材の維持管理に関すること。 (5) 関係医療機関に関すること。 (6) 救急の知識・技術の普及啓発に関すること。 (7) 署員の救急関連教育訓練に関すること。 (8) その他救急係の分掌として適当とする事項。
	救助係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 救助業務に関すること。 (2) 救助業務の報告及び統計に関すること。 (3) 隊員の教育訓練に関すること。 (4) 署員の救助関連教育訓練に関すること。 (5) 救助活動の諸計画に関すること。 (6) その他救助係の分掌として適当とする事項。

◇ 事務分掌（分署）

分 署	消 防 係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 警防計画及び訓練に関する事。 (2) 火災の警戒防ぎょに関する事。 (3) 水火災その他特殊災害に関する事。 (4) 消防地理及び水利に関する事。 (5) 火災の原因及び損害の調査に関する事。 (6) 火災業務の報告及び統計に関する事。 (7) 消防機械器具の維持管理に関する事。 (8) 車両の運行管理に関する事。 (9) 消防団の訓練指導に関する事。 (10) 予防事務に関する事。 (11) 庁舎施設見学に関する事。 (12) 管内住民、事業所、団体等の消防訓練指導事務及び防火防災思想の普及指導及び育成に関する事。 (13) 消防広報及び消防相談に関する事。 (14) 署員の教養及び教育訓練に関する事。 (15) 署員の服務、教養その他庶務に関する事。 (16) その他消防係の分掌として適当とする事項。
	救 急 係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 救急業務に関する事。 (2) 救急訓練計画及び指導実施に関する事。 (3) 救急業務の報告及び統計に関する事。 (4) 救急資機材の維持管理に関する事。 (5) 関係医療機関に関する事。 (6) 救急の知識・技術の普及啓発に関する事。 (7) 署員の救急関連教育訓練に関する事。 (8) その他救急係の分掌として適当とする事項。
	指 導 係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 署員の教養及び教育訓練に関する事。 (2) 予防事務に関する事。 (3) 自主防災並びに防火思想の普及啓発及び指導育成に関する事。 (4) その他指導係の分掌として適当とする事項。

◇ 消防職員の状況

消防職員は、住民の安全を守る防災担当者として、火災の防ぎよ、救急、救助その他のあらゆる災害の防除のため、日夜その責務を担って業務遂行に当たり住民の安全確保に努めています。

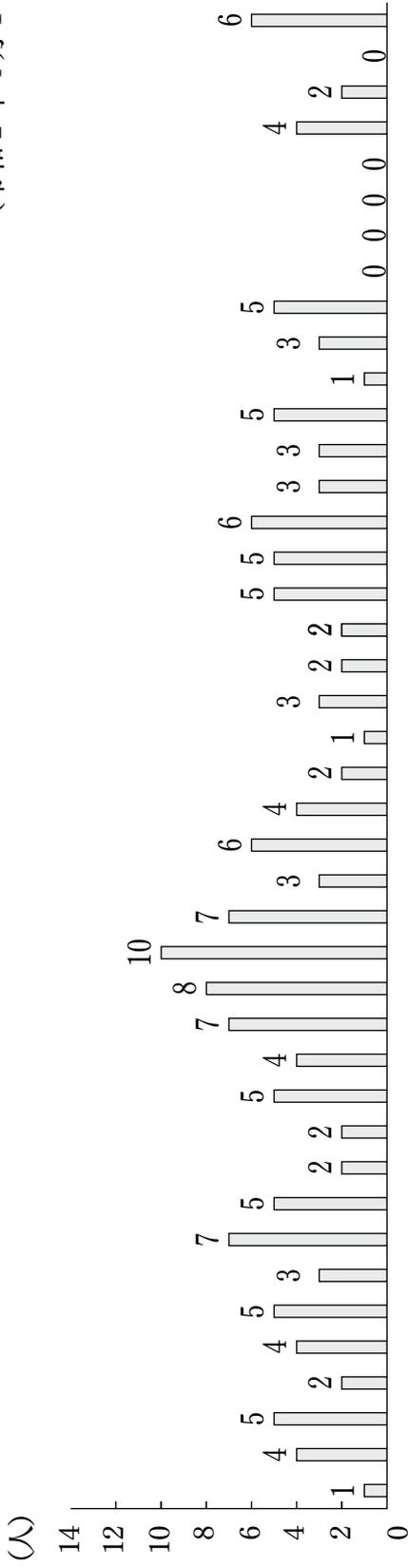
(令和2年4月1日現在)

所 属	階級等別	消防吏員						事務職員	計
		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長		
消防本部	消防長	1							1
	次長	(1)							(1)
	総務課		1	1	1	3			(1) 6(1)
	予防課		1	1	1		1	1	5
	警防課		1		2			1	4
	通信指令課			2	2	4	1		9
	指揮課			4			2		6
	派遣・研修等				1	2		6	9
消防署	北消防署		1	2	6	10	6	3	28
	美里分署			2	3	4	1	5	15
	網田分署			1	3	2	3	1	10
	南消防署		1	2	6	10	5	5	29
	三角分署			1	3	2	3	1	10
	豊野分署			1	3	3	3		10
	小川分署			1	3	2	4		10
計		1(1)	5	18	34	42	29	23	(1) 152(2)

() は構成市町から出向

◇ 年齢別職員数

(令和2年4月1日現在)



階級	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	合計	平均年齢																																				
消防監																																												1	59.0																																			
消防司令長																																														5	55.8																																	
消防司令																																														18	52.5																																	
消防司令補																																														34	43.5																																	
消防士長																																														42	32.1																																	
消防副士長																																														29	27.7																																	
消防士	1	4	5	2	4	5	1	1																																					23	21.3																																		
事務職員																																													0																																			
合計	1	4	5	2	4	5	3	7	5	2	2	5	4	7	8	10	7	3	6	4	2	1	3	2	2	5	5	6	3	3	5	1	3	5	0	0	0	4	2	0	6	152	35.3																																					
年代別人員																									24																									36	16	18	8	12																									152	
構成比																									15.8																									23.7	10.5	11.8	5.3	7.9																									100.0	

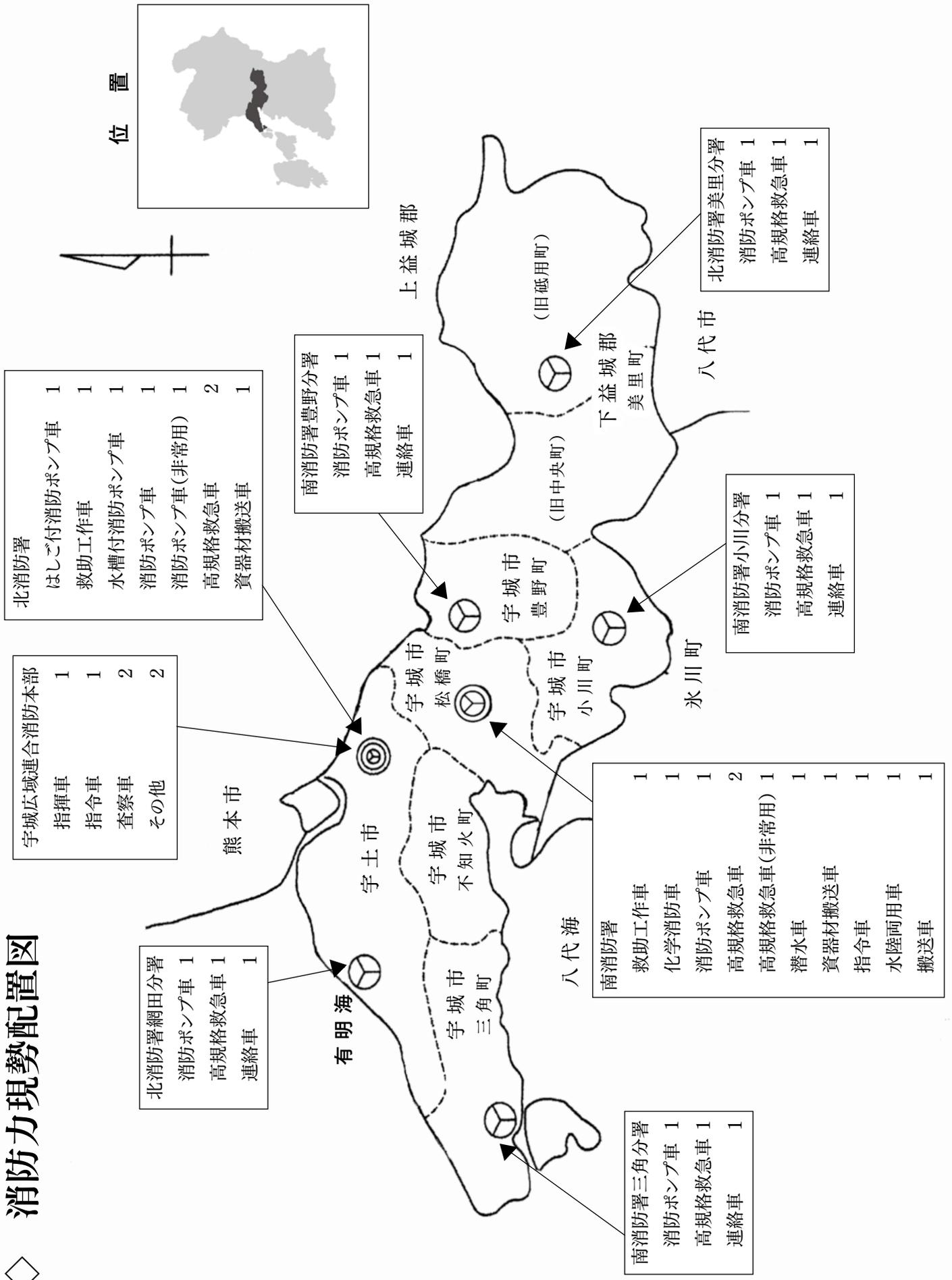
◇ 消防力の整備指針による基準消防力と現有消防力

(令和2年4月1日現在)

署 所	区 分	基準数	現有数	充 足 率 (%)	備 考
署 所	市 街 地	2	2	100.0	
	そ の 他	5	5	100.0	
消防自動車等	消防ポンプ自動車	8	8	100.0	水槽付ポンプ車含む
	はしご付消防ポンプ自動車	1	1	100.0	30 m級
	化学消防車	1	1	100.0	
	指 揮 車	2	1	50.0	
	消 防 艇	1	0	0.0	
	特殊車等	7	7	100.0	
	救急自動車	9	9	100.0	
	救助工作車	2	2	100.0	
	消防ポンプ自動車(非常用)	1	1	100.0	
	救急自動車(非常用)	1	1	100.0	

	区 分	現有施設に 対する基準	現有職員数	充足率(%)	備 考
消防本部・ 署人員	指 揮 隊 員	18	6	33.3	
	消 防 隊 員	129	85	65.9	
	救 急 隊 員	18	16	88.9	
	救 助 隊 員	30	16	53.3	
	通 信 員	15	9	60.0	
	庶務の処理等の人員	15	15	100.0	
	予防要員(専従員)	18	5	27.8	
	計	243	152	62.6	

消防力現勢配置図



◇ 協定書に基づく応援等について

協定名称	協定団体	締結年月日
海上における船舶火災の消防活動に関する業務協定書	熊本海上保安部	平成 30 年 3 月 1 日
万坂トンネルにおける事故発生時の通報及び出動に関する協定書	矢部土木事務所 矢部（現山都）警察署 松橋（現宇城）警察署 上益城消防組合消防本部	昭和 52 年 7 月 1 日
熊本県防災消防ヘリコプター応援協定	熊本県下全市町村 熊本県下全消防本部	平成 13 年 3 月 28 日
熊本県消防相互応援協定	熊本県下全市町村 熊本県下全消防本部	平成 27 年 4 月 1 日
九州自動車道における消防相互応援協定	九州自動車道沿線市町村 九州自動車道沿線消防本部	平成 27 年 4 月 1 日

◇ 階級別特殊技能取得状況

(令和2年4月1日現在)

	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
普通1種自動車運転免許(準中型含む)	1	5	18	34	42	29	23	152
中型1種自動車運転免許			1	3	18	11	7	40
大型1種自動車運転免許	1	4	12	30	30	21	2	100
大型2種自動車運転免許			1					1
大型特殊自動車運転免許				4	5	7	1	17
救急救命士	1	1	6	14	11	5	3	41
応急手当指導員	1	5	18	34	42	29	17	146
JPTEC PROVIDER	1	1	1	6	10	6		25
JPTEC インストラクター	1			3	3			7
ACLS インストラクター	1							1
ICLS インストラクター	1	1	1	4	1			8
潜水士		1	8	16	24	14	1	64
水上安全法救助員				1				1
着衣泳指導員			1	9	5	4		19
防火査察(予防技術資格者)		1	1	4	7	1		14
消防用設備等(予防技術資格者)		1	1	2	3			7
危険物(予防技術資格者)			2	3	2	1		8
消防設備士(甲)								0
消防設備士(乙)		1	5	21	6	2		35
防火対象物点検資格者		1	1					2
危険物取扱者(甲)		1						1
危険物取扱者(乙)	1	5	15	33	26	6	8	94
陸上特殊無線技士	1	5	18	34	41	29	17	145
アマチュア無線技士			2					2
小型船舶操縦士	1	1	8	14	15	5		44
第1種衛生管理者	1				2			3
毒物劇物取扱者	1						1	2
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	1	1	9	24	11			46
特定化学物質等作業主任者	1	1	1	2	1			6
小型移動式クレーン			6	13	14	5		38
玉掛技能者	1		8	14	12	2		37
高所作業車運転技能者				1				1
車両系建設機械運転技能者			1		1			2
可搬ポンプ整備資格者	1	1	1					3
電気工事士				1				1
小型ボイラー			1	1				2
ガス溶接技術者					1			1
自治体法務検定			1					1
防災士	1		1	1	1			4

◇ 消防資器材の現有状況

消火用資器材

(令和2年4月1日現在)

器材名		配置署	北 消防署	美里 分署	網田 分署	南 消防署	三角 分署	豊野 分署	小川 分署	計
放水用具	ホース	65mm	103	36	57	91	50	55	56	448
		50mm	106	58	59	81	52	59	52	467
	管 槍	65mm	8	2	1	4	2	3	2	22
		50mm	8	3		8	3	1	2	25
	小型動力ポンプ					1			1	2
	ポータブルCAFS(武蔵)									1(予防課)
	無反動ノズル		4	3	2	4	2	2		17
	フォグガン		2	1	1	1	1		1	7
	ラインプロポーションナー				1	3	1		1	6
	高発泡器具		1							1
	消火薬剤	蛋白(20L)		1						1
		界面(20L)	9	4	4	9	3	3	6	38
	油中和剤	普通(20L)	9	2	1	5		1		18
		バイオ(20L)								0
	オイルキャッチャー		377	226	275	273	180	300	358	1,989
	ジェットシューター		6	3	3	8	3	3	3	29
	媒介金具	メスオス 50/40	2			2	1	3	1	9
		メスオス 65/50	2	3	2	3	1	1	1	13
		メスオス 50/65	2	2	1	1	1			7
	逆延長金具 65mm(マルチ含)	オスオス	4	1	1	4	2	2	2	16
メスメス		4	1	1	4	2	2	1	15	
逆延長金具 50mm(マルチ含)	オスオス	2	1	1	1	1	1	4	11	
	メスメス	1	1	1	1		1	1	6	
分水器	65-65×2		1		1				2	
	65-50×2		1		1				2	
	マルチ	6	2	2	4	1	2	2	19	
スタンドパイプ		6	2	2	4	2	2	2	20	
ホースブリッジ		6	4	2	8	2	4	6	32	
消火活動用具	鷹 口		8	2	3	5	2	2	2	24
	梯 子	単・折りたたみ	2			3			1	6
		二 連	1	1	1	2	1	1		7
		三 連	2			2				4
	投光器		4	1	1	3	1	1	1	12
	発電機	灯光器用	4	1	1	5	1	1	1	14
		庁舎用	1	1	1	3	2	1	2	11
	温度測定器		2	1	1	2	1	1	1	9
	耐熱防火衣		1			5				6
	番線カッター		2	2	2	3	2	1	1	13
	夜光ベスト		11	2	6	8	6	6	7	46

救助用資器材

(令和2年4月1日現在)

器材名		配置署	北 消防署	美里 分署	網田 分署	南 消防署	三角 分署	豊野 分署	小川 分署	計	
呼吸 保護 器具	空気呼吸器	陽圧型	16	3	3	15	3	3	3	46	
		陰圧型								0	
	簡易酸素呼吸器		5			1				6	
	空気ボンベ		40	17	11	46	17	12	11	154	
切断用 器具	油圧カッター（エンジン式）		1							1	
	油圧カッター（電動式）					1				1	
	コンビツール一式			1			1			2	
	万能切断機（酸素）		1			1				2	
	携帯カッター・拡張器（電動式）				1					1	
	エアソー		1	1		1	1			4	
	レシプロソー		1			1				2	
	エンジンカッター		1	1	1	2	1	1	1	8	
	チェーンソー		1	1	1	3	1	1	1	9	
	エアカッター					1				1	
重量物 排除 器具	ポートパワー				1			1		2	
	チルホール		2	1		3		1	1	8	
	油圧スプレッダー		1			1				2	
	エアーマット		1	1	1	1	1	1	1	7	
	プランジャーラム		3			1				4	
破壊 器具	ハンマードリル		1			1				2	
	削岩機		1			2				3	
	ストライカー(ハンディブレーカー)		1			1				2	
	万能斧		13	2	1	5	1	1	1	24	
ガス等 対策 器具	防毒服（陽圧式）		3			3				6	
	防毒衣		5	3		9	3			20	
	帯電衣		4			5				9	
	放射能防護服		1			5				6	
	検知器	有毒ガス		1			2				3
		可燃性ガス		1							1
マルチガス		4	1	1	5	2	2	1	16		
放射線		19			5				24		
水難 救助 器具	スクーバダイビング セット	ウエット				25				25	
		ドライ				17				17	
	スクーバダイビング用ボンベ					25				25	
	浮環		3	1	1	7	2	1	1	16	
	救助ボート		1			1				2	
	船外機		1			1				2	
	ゼニライトブイ					1				1	
	すばり		3	3			8	2		16	
	投げ網									0	
	ライフジャケット		35	7	6	55	11	11	8	133	
	落水者リカバリーシステム					1				1	
その他 救助 器具	フローティング担架					1				1	
	山岳救助資器材一式		1			1	1			3	
	エアーバッグカバー		1	1	1	2	1			6	
	緩降器		2			1				3	
	ロープ登降器									0	
	折りたたみ梯子									0	
	画像探索機					1				1	
	ウィンドーボンチ		5		1	13	1		2	22	
	エアーテント一式					1				1	
	舟形担架		1			2	1			4	
	折りたたみ担架		1							1	
	スケッドストレッチャー		1			1				2	
	マンホール救助器具		1			2				3	
	排煙機		2			1				3	
救助マット		1			1				2		
縛帯		2	2	1	4		1	3	13		

救急用資器材

(令和2年4月1日現在)

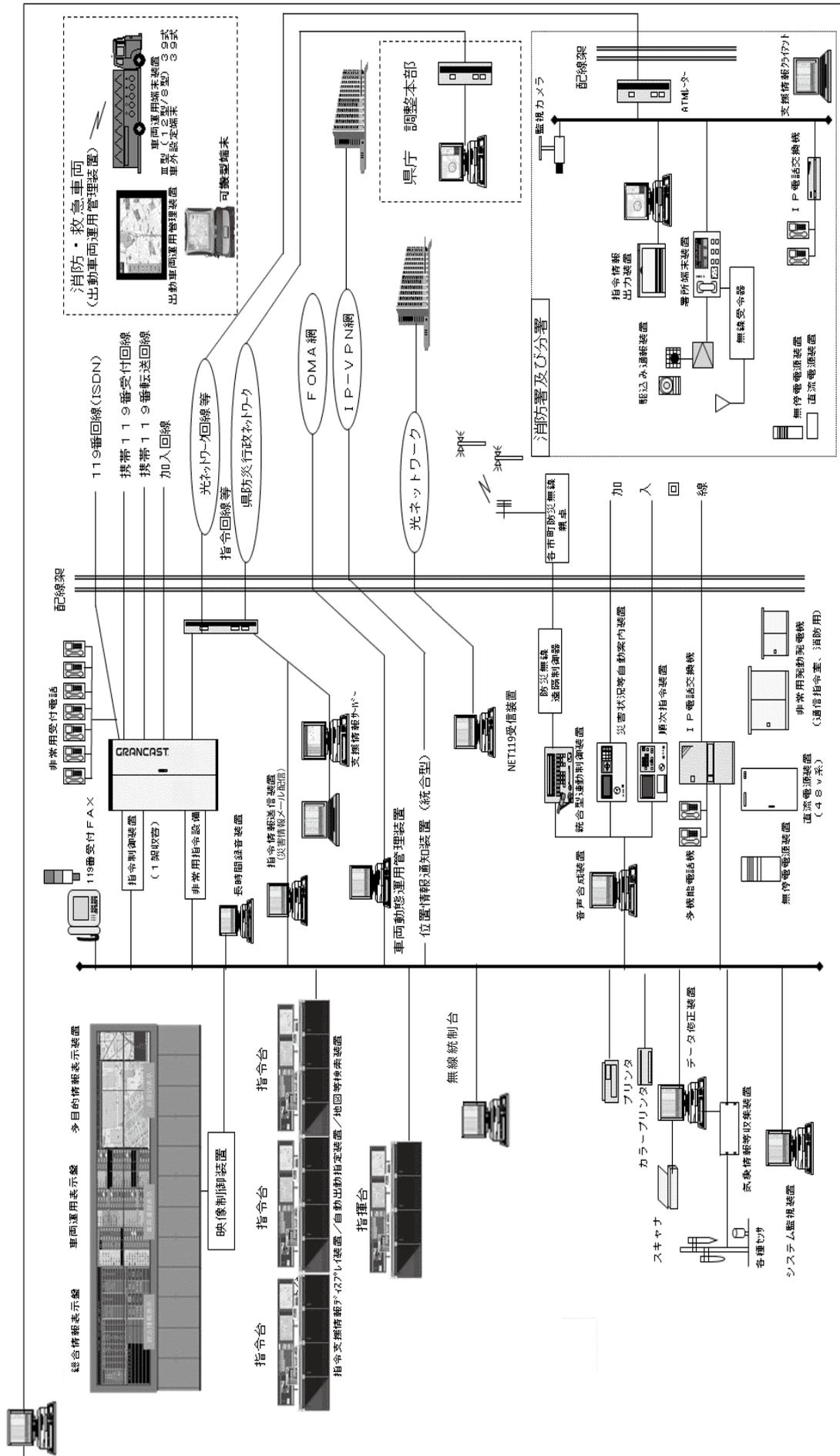
器材名		配置署	北 消防署	美里 分署	網田 分署	南 消防署	三角 分署	豊野 分署	小川 分署	計
救急用資器材	血圧計		4	1	1	2	2	3	1	14
	電動式吸引器		3	1	1	4	3	2	2	16
	喉頭鏡セット		5	3	1	7	3	3	3	25
	手動引金式人工呼吸器									0
	酸素吸入器（インハレター）		2	1	1	2	1	1	1	9
	自動式人工呼吸器		2	1	1	3	1	2	1	11
	人工蘇生器（バッグマスク）		7	3	1	10	2	3	7	33
	バキュームスプリント		2	1	1	1	1	1	1	8
	マジックギブス				1					1
	スロートイーバッグ						1	1	1	3
	救急用携帯電話		2	1	1	2	1	1	1	9
	スクープストレッチャー		3	3	1	5	2	2	1	17
	バックボード		4	2	2	3	2	2	2	17
	ショートボード		2							2
	ビデオ喉頭鏡		1	1		2		2	1	7
ケッド		1			2	1	1	1	6	
高度救急用資器材	気道確保用資器材一式		2	1	1	2	1	1	1	9
	輸液用資器材一式		2	1	1	2	1	1	1	9
	自動体外式除細動器		5	1	1	3	1	3	2	16
	患者監視モニター		1	1	1	2	1	1	2	9
	血中酸素飽和度測定器		2	2	1	1	1	1	1	9
	カプノチェック		1			1				2
	心電計								1	1
自動心肺蘇生器			1	1	1	1	1		5	
消毒用資器材	オゾン滅菌装置									0
	E O G方式滅菌器									0
	銀イオンドライフォッグ				1	1	1	1		4
	紫外線滅菌ロッカー		1							1
救急訓練資器材	高度救命処置シミュレーター		1			2				3
	レコーディングレサシアン		5	2	2	5		1	2	17
	アンプマン		2	1			2	1		6
	ジュニア		8	1	1	12	1		1	24
	ベビー		4			3	1		1	9
	JAMY		2	1		1				4
	レサシアン半身		1			3				4
	気道管理トレーナー		1	1		1	1			4
	静脈トレーナー		1	1		1				3
	AED トレーナー		14	2	1	14	2	1	2	36

水防用資器材

(令和2年4月1日現在)

器材名		配置署	北 消防署	美里 分署	網田 分署	南 消防署	三角 分署	豊野 分署	小川 分署	計
スコップ	剣		19	7	6	13	8	4	3	60
	角		4	2	1	2			3	12
ツルハシ			4	2	3	3	2	1	1	16
ハンマー			1			3			1	5
カケヤ			3	2	2	4	2	1	1	15
斧			4		1	2			1	8
ナ タ			2	6	3	15	4	3	2	35
鍬			2		2	1		1		6
唐 鍬					2					2
三 又					2			2		4
土のう袋			800	158	270	160	200	200	100	1,888

消防通信系統図



◇ 119 受信状況

月別受信状況

(令和元年中)(件)

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	1	1	4	6	9	6	2	3	3	3	3	4	45
救急	672	481	528	527	557	517	575	575	544	503	529	527	6,535
救助	7	3	12	11	14	12	6	6	3	8	8	10	100
警戒	105	59	62	50	53	46	44	50	65	67	69	59	729
同報	34	17	33	32	14	22	36	25	21	23	30	28	315
まちがい	30	19	28	31	41	38	30	27	22	38	14	22	340
いたずら	2			2	1	1	3	1		2			12
問い合わせ	41	30	20	28	36	39	29	49	30	33	19	33	387
通報訓練	21	25	56	17	39	38	22	21	38	35	91	51	454
回線試験	16	17	21	36	53	21	35	21	22	37	27	18	324
その他	37	23	23	19	26	28	31	23	23	35	32	29	329
携帯転送	19	12	10	11	15	7	18	24	19	12	15	15	177
総計	985	687	797	770	858	775	831	825	790	796	837	796	9,747

覚知種別受信状況

(令和元年中)(件)

種別	火災	救急	救助	警戒	同報	まちがい	いたずら	問い合わせ	通報訓練	回線試験	その他	携帯転送	総計
119	3	1,828	9	136	64	112	7	80	265	223	82	6	2,815
携帯119	31	2,593	70	381	205	187	2	227	26	21	133	169	4,045
I P 119	2	1,893	5	116	42	28	2	41	160	43	26	2	2,360
加入電話 (加入電話から)	3	57	10	33	1						2		106
加入電話 (携帯電話から)	2	9	1	7									19
駆け付け通報		135				1	1	37		15	45		234
事後聞知	3			1									4
自己覚知	1	5		13									19
その他		15	5	42	3	12		2	3	22	41		145
総計	45	6,535	100	729	315	340	12	387	454	324	329	177	9,747

備考：平成17年12月2日から携帯電話での「119通報」を直接受信開始

気象状況

宇城広域連合消防本部：標高3.7 m (令和元年中)

月	平均 風速 m/s	平均 風向	最大瞬間 風速 m/s	最大瞬間 風向	月平均 気温 °C	月最高 気温 °C	月最低 気温 °C	月平均 相対湿度 %	月最高 相対湿度 %	月最低 相対湿度 %	実効 湿度 %	現地 気圧 hpa	海面 気圧 hpa	10分最大 雨量 mm	時間最大 雨量 mm	月最大 雨量 mm	月積算 雨量 mm
1月	1.6	北	16.4	北	6.6	14.1	-2.8	70.5	97.4	22.7	69.8	1022.7	1023.5	1.0	2.5	9.5	16.0
2月	2.0	北	15.4	南西	8.5	18.2	-1.2	73.1	97.7	25.2	72.5	1020.6	1021.3	4.5	12.0	30.5	93.5
3月	2.3	北北西	17.9	西	11.1	21.7	0.8	69.1	97.4	18.0	70.1	1016.1	1016.8	2.0	7.0	24.5	103.5
4月	2.3	北北西	13.4	北北西	15.4	26.5	2.2	69.4	98.0	22.4	67.6	1013.8	1014.5	7.0	9.5	21.0	89.0
5月	2.1	北北西	13.8	東南東	20.5	31.2	8.6	63.9	97.5	10.0	64.5	1011.7	1012.4	1.5	4.5	11.0	42.0
6月	2.6	北西	20.3	南西	23.2	30.8	15.8	77.8	97.7	37.4	75.4	1006.2	1006.9	10.5	44.0	194.0	327.5
7月	2.3	南西	17.5	南	26.2	34.3	20.2	83.7	99.9	44.7	84.3	1006.8	1007.5	15.0	55.5	103.0	412.5
8月	2.4	南西	20.3	南南西	27.3	36.5	18.1	80.4	98.0	38.3	79.3	1006.4	1007.1	12.5	35.5	51.0	284.5
9月	2.1	北西	28.7	南西	25.9	34.7	17.1	78.3	98.3	32.2	78.7	1011.7	1012.4	11.0	27.5	49.5	131.0
10月	2.1	北	13.8	南南西	20.4	31.8	11.2	77.1	98.0	29.1	77.3	1015.0	1015.7	8.0	39.5	45.0	81.5
11月	1.6	北	11.6	北北東	13.5	23.1	2.3	74.1	98.0	24.4	74.0	1019.8	1020.5	3.0	5.5	15.0	35.5
12月	1.8	北	18.3	北北西	9.1	22.7	-0.7	75.1	97.7	32.7	74.9	1022.5	1023.2	2.5	10.0	24.0	83.0
平均	2.1	北北西			17.4			74.4			74.0	1014.4	1015.1				
最高	17.4	南西	28.7	南西		36.5			99.9		93.2	1032.7	1033.5	15.0	55.5	194.0	412.5
起時	9/22 22:28		9/22 22:04			8/13 14:03			7/13 15:56		7/3	1/3 9:44	1/3 9:44	7/13 15:30	7/13 16:20	6/30	7
最低						-2.8				10.0	53.4	980.3	981.0				
起時						1/4 7:23				5/7 16:18	4/3	8/15 3:41	8/15 3:41				
積算																	1699.5
日数						150	12										125

風向 頻度 %	北	北北東	北東	東北東	東	東南東	南東	南南東	南	南南西	南西	西南西	西	西北西	北西	北北西	静穏
	11.7	8.4	6.2	4.5	2.7	3.6	7.8	7.3	5.2	3.7	6.6	2.4	1.8	2.8	10.6	12.2	2.5

火 災

- ◇ 概 況
- ◇ 10 か年の火災発生件数
- ◇ 市町別 10 か年の火災発生件数
- ◇ 月別火災発生件数
- ◇ 月別・市町別火災発生件数
- ◇ 時間・種別毎火災発生件数
- ◇ 市町別火災発生件数と損害額
- ◇ 年別火災状況及び損害額
- ◇ 月別火災発生状況
- ◇ 市町別火災発生状況
- ◇ 出火原因別の前年比
- ◇ 出火原因別火災発生件数



◇ 概 況

宇城広域連合消防本部管内における令和元年中の火災発生件数は45件で、前年より6件増加しています。構成市町別にみると、宇城市が28件と最も多く、次いで宇土市の11件、美里町の6件となっています。

1. 出火件数（種別毎）

火災種別ごとにみると、建物火災が18件（前年比9件増）と総件数の40%を占め、その他火災24件（前年比3件減）、車両火災2件（前年比1件減）となっています。

建物火災が昨年より倍増しています。

2. 焼損内訳

建物焼損床面積は、603㎡で前年に比べ138㎡増加しています。焼損棟数は27棟（全焼10棟、半焼1棟、部分焼10棟、ぼや6棟）で、前年に比べ13棟増加し、罹災世帯は10世帯で前年より4世帯増加しています。

3. 損害額

損害額は、34,030千円で、前年より9,242千円の増加となっています。火災種別毎にみると、建物火災24,474千円（前年比1,756千円増）、車両火災261千円（前年比1,294千円減）、その他9,295千円（前年比8,780千円増）で、全体の損害額は増加しています。

4. 出火原因

出火原因の1位は「たき火」11件（24%）、「配線器具」7件（16%）、「火入れ」6件（13%）、「その他」3件（7%）、「たばこ」2件、「ストーブ、電気機器、電気装置、マッチ・ライター、放火、火遊び」各1件、原因の特定に至らない「不明・調査中」が10件となっています。

5. 死傷者

火災による死者は0名、負傷者は9名でした。前年より死者数は1名減少、負傷者は5名増加しました。

6. 傾向

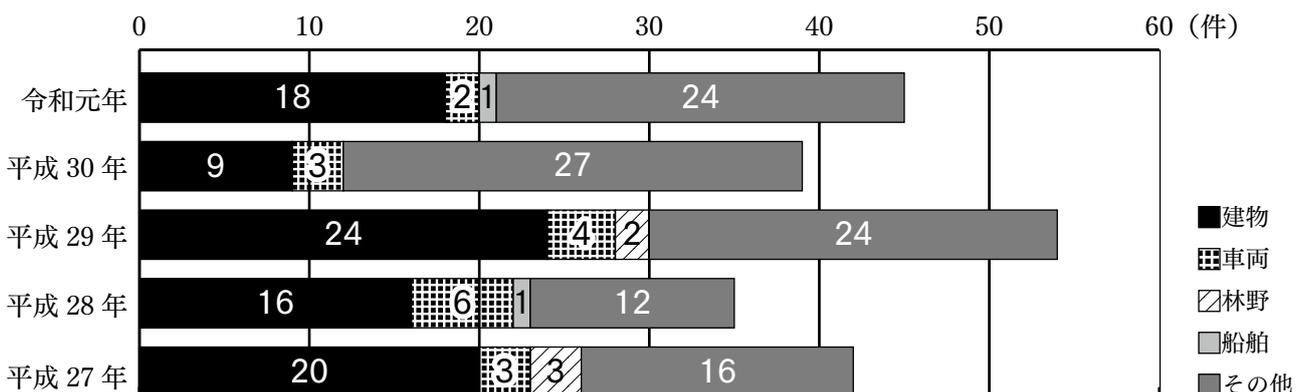
火災の発生状況を月別にみると、5月が9件（20%）で最も多く、次いで4月・6月の6件（13%）、3月・12月の4件（9%）となっています。一番少ない月は1月・2月の1件でした。

時間帯別にみると14時～16時が14件（31%）で最も多くなっています。なお、本年は日中の時間帯に多くの火災が発生しています。

建物火災も14時～16時までの昼間帯に6件発生し、建物火災の33%を占めています。

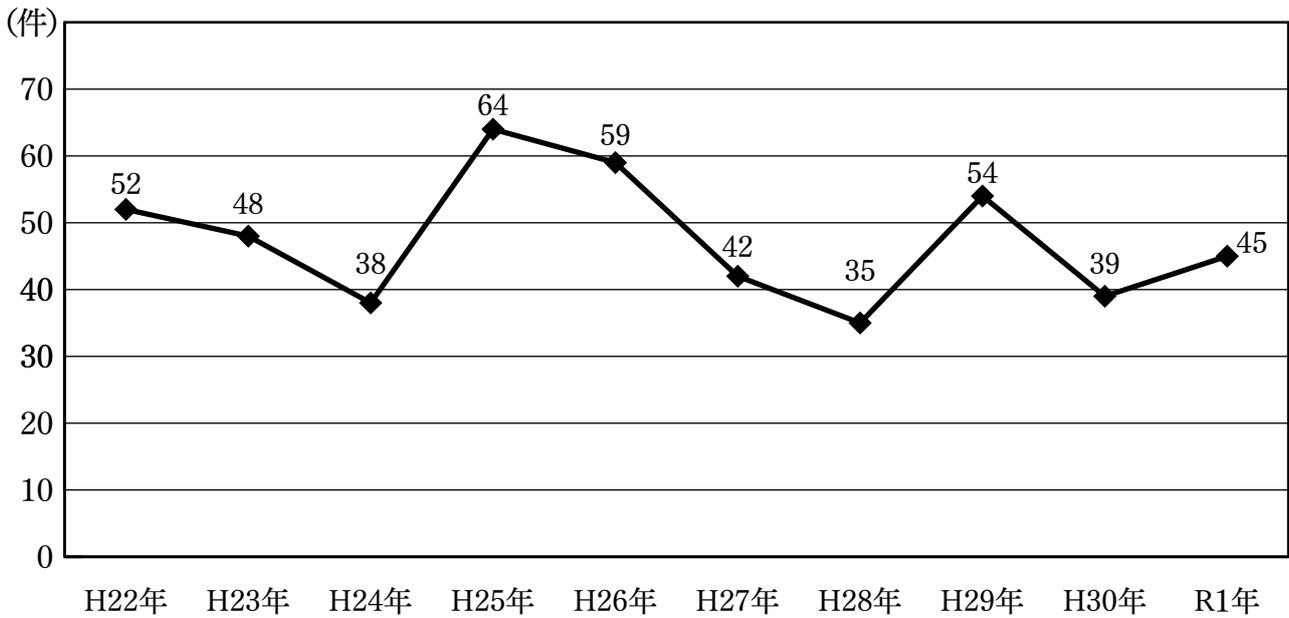
過去5か年の種別ごと火災件数

種別	建物	車両	林野	船舶	その他	計
令和元年	18	2		1	24	45
平成30年	9	3			27	39
平成29年	24	4	2		24	54
平成28年	16	6		1	12	35
平成27年	20	3	3		16	42



◇ 10 年間の火災発生件数

※管外で発生した火災を除く



◇ 市町別 10 年間の火災発生件数

※管外で発生した火災を除く

市町別	区分	過去 10 年間の火災発生件数									
		H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年
合 計		52	48	38	64	59	42	35	54	39	45
宇 土 市		13	14	12	19	23	13	10	22	13	11
宇 城 市		24	22	15	26	26	22	22	26	20	28
美 里 町		3	4	2	7	4	7	3	6	6	6
熊本市南区城南町		11	6	4	9	1	宇城広域連合離脱				
熊本市南区富合町		1	2	5	3	5	宇城広域連合離脱				

火災の定義

「火災」とは、人の意図に反して発生し、若しくは拡大し、又は放火により発生して、消火の必要がある燃焼現象であって、これを消火するために消火施設又はこれと同程度の効果のあるものの利用を必要とするもの、又は人の意図に反して発生し若しくは拡大した爆発現象をいう。

火災種別の説明

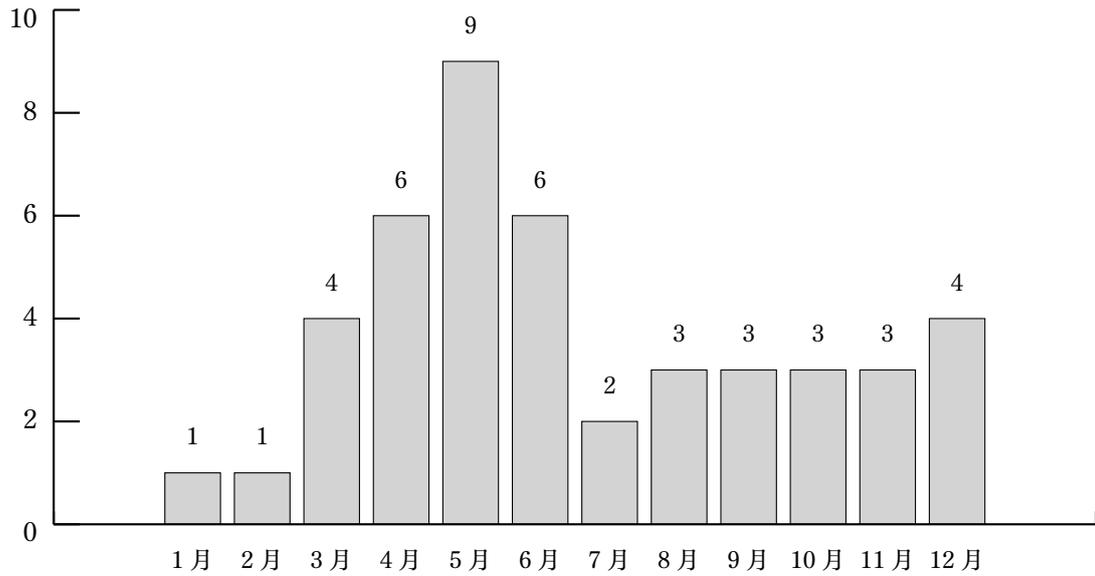
- 建物火災とは、建物又はその収容物が焼損した火災をいいます。
- 林野火災とは、森林・原野又は牧野が焼損した火災をいいます。
- 車両火災とは、自動車車両及び被けん引車又はこれらの積載物が焼損した火災をいいます。
- 船舶火災とは、船舶又はその積載物が焼損した火災をいいます。
- 航空機火災とは、航空機またはその積載物が焼損した火災をいいます。
- その他火災とは、上記に掲げる火災以外の火災をいいます。

(例えば、空地・田畑・道路・河川敷・ごみ集積場・電柱類等の火災など)

◇ 月別・市町別火災発生件数

(件)

(令和元年中)



◇ 月別・市町別火災発生件数

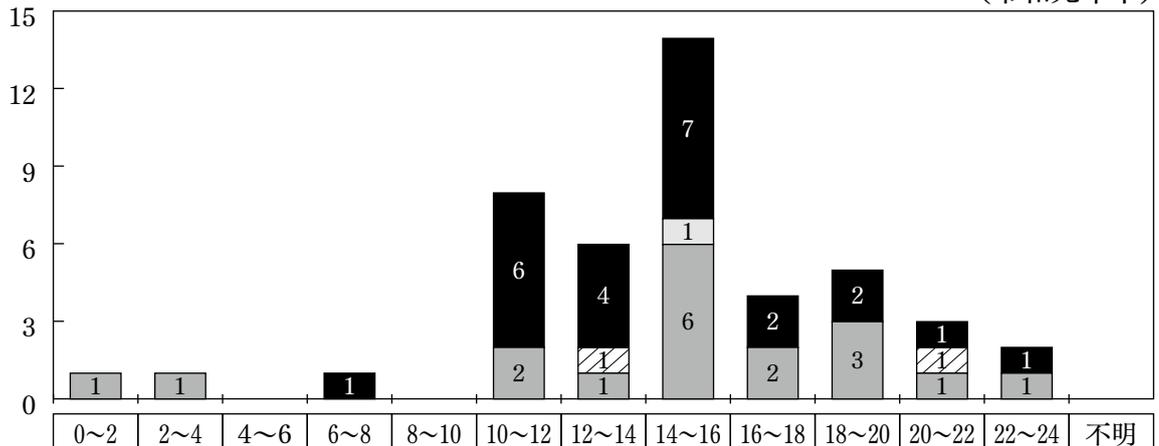
(令和元年中)

市町別	月別												
	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計	45	1	1	4	6	9	6	2	3	3	3	3	4
宇土市	11			2	1	3			3			1	1
宇城市	28	1	1	2	3	5	4	2		3	3	2	2
美里町	6				2	1	2						1
管外													0

◇ 時間・種別毎火災発生件数

(件)

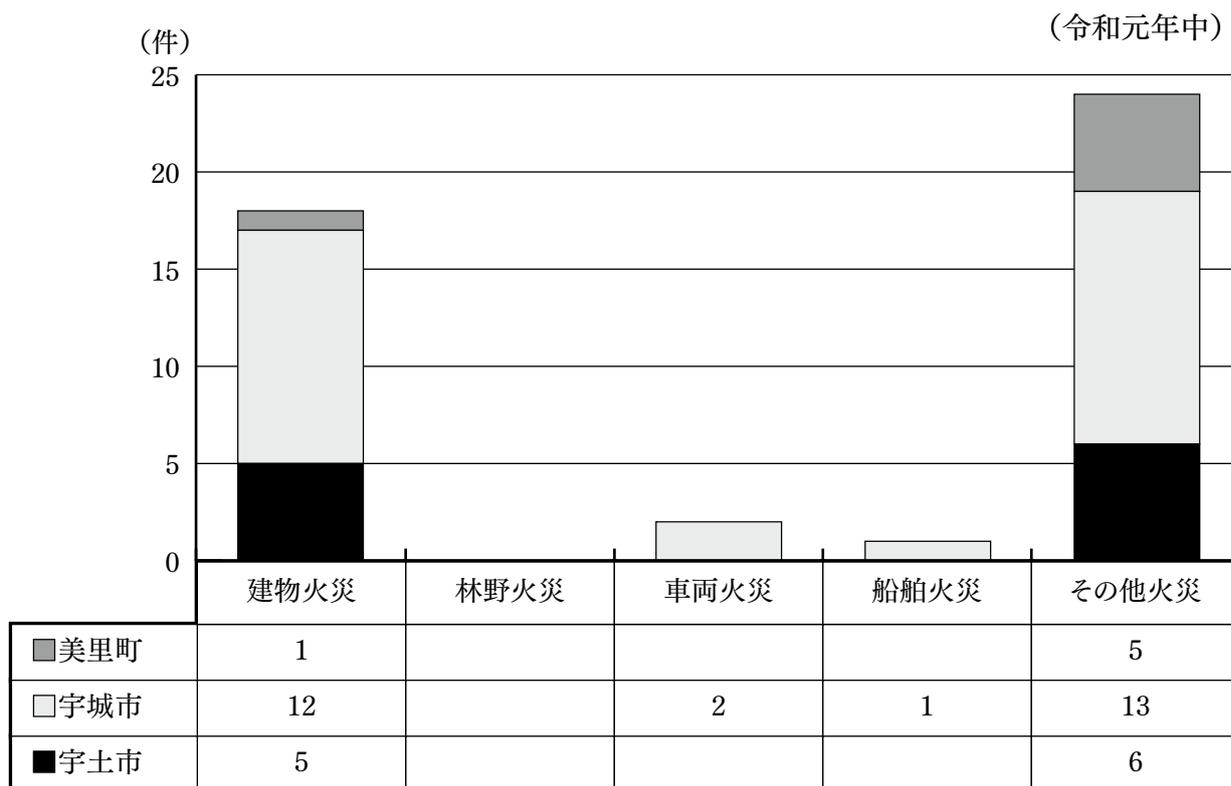
(令和元年中)



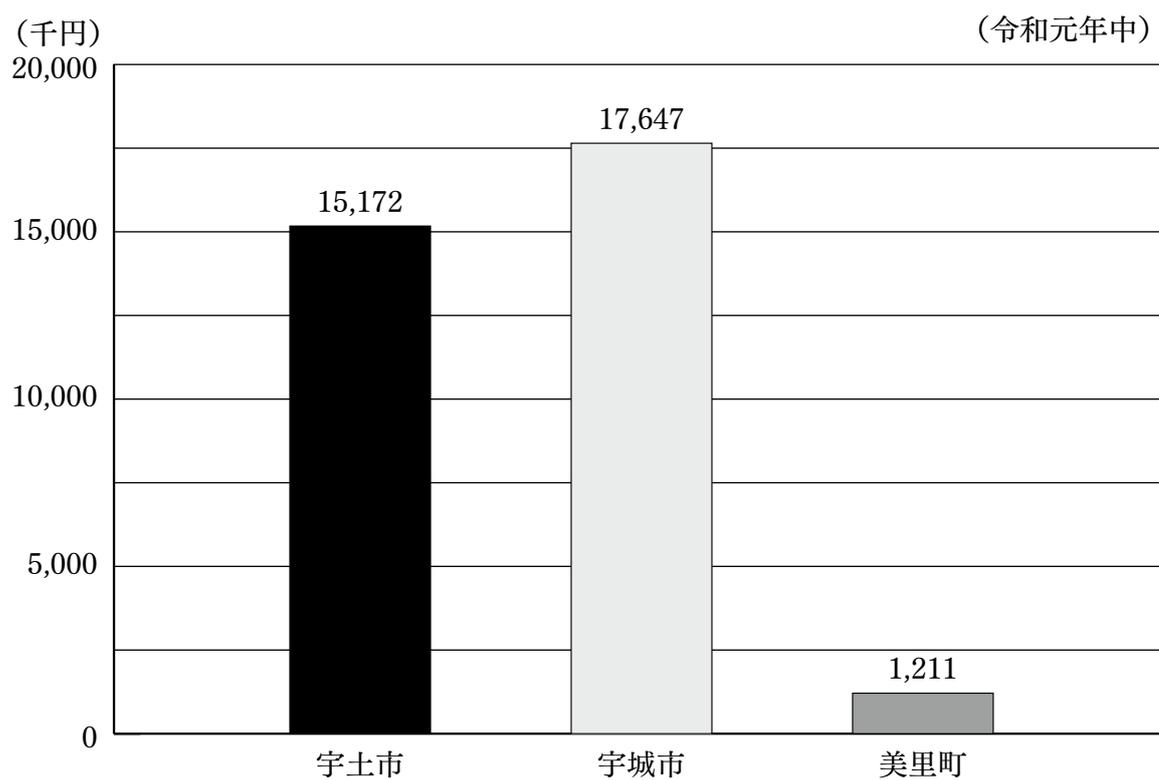
時間	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	不明	
合計	45	1	1	0	1	0	8	6	14	4	5	3	2	0
■その他	24				1		6	4	7	2	2	1	1	
□船舶	1							1						
▨車両	2						1				1			
□林野	0													
■建物	18	1	1			2	1	6	2	3	1	1		

◇ 市町別火災発生件数と損害額

■市町別火災発生件数



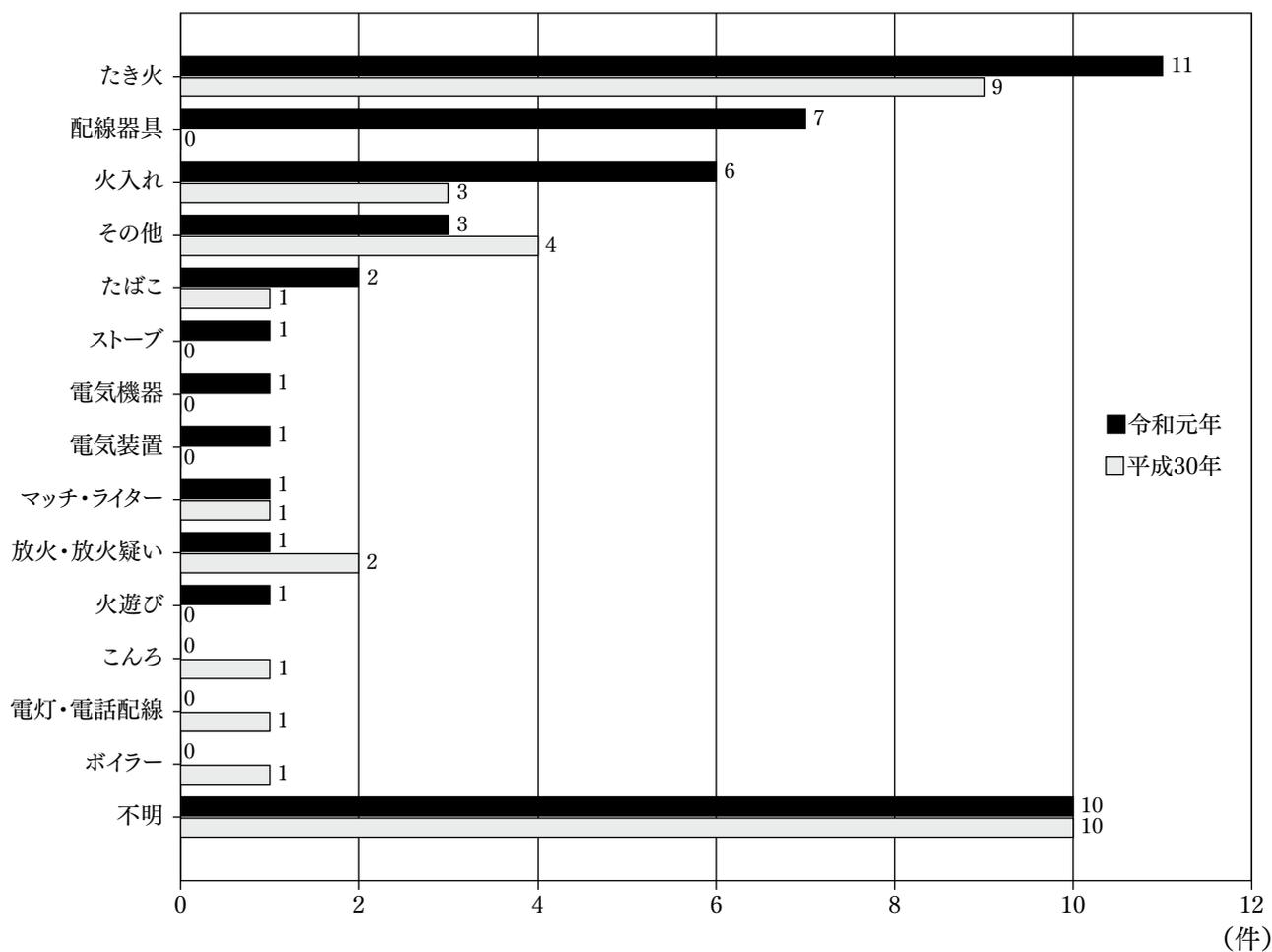
■市町別損害額



◇ 年別火災状況及び損害額

種別		年別									
		H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年
火災発生件数	建物	35	28	22	29	33	20	16	24	9	18
	林野			1	3		3		2		
	車両等	12	7	7	8	7	3	6	4	3	3
	その他	6	13	8	24	19	16	13	24	27	24
	合計	53	48	38	64	59	42	35	54	39	45
罹災世帯	全損	12	15	9	8	8	6	6	13	2	4
	半損		4		2	3	3	1	1		
	小損	25	15	10	14	21	15	3	9	4	6
	合計	37	34	19	24	32	24	10	23	6	10
罹災人員		89	91	60	59	78	64	23	64	16	18
焼損棟数	全焼	19	24	12	11	23	4	10	17	3	10
	半焼	2	4	2	2	2	3	2	1		1
	部分焼	16	13	10	12	25	7	3	10	4	10
	ぼや	12	10	7	12	16	13	8	3	7	6
	合計	49	51	31	37	66	27	23	31	14	27
焼損面積	建物(m ²)	1,992	3,370	3,013	1,442	4,253	1,039	1,302	3,132	465	603
	林野(a)		5	1	12		33				
損害額(千円)	建物	128,919	162,183	167,183	82,704	300,580	40,346	72,027	146,533	22,718	24,474
	林野		47	64		22	35	94	34		
	車両等	2,146	17,425	1,629	11,312	1,885	1,967	3,136	1,062	1,555	261
	その他	1,225	1,562	909	3,221	52,385	853	911	1,278	515	9,295
	合計	132,290	181,217	169,785	97,237	354,872	43,201	76,168	148,907	24,788	34,030
死傷者	死者		3	4	2		1	1	4	1	
	傷者	9	8	10	7	13	6	3	5	4	9

◇ 出火原因別の前年比



◇ 出火原因別火災発生件数

(令和元年中)

番号	原因	件数	番号	原因	件数
1	たき火	11	8	電気装置	1
2	配線器具	7	9	マッチ・ライター	1
3	火入れ	6	10	放火・放火疑い	1
4	その他	3	11	火遊び	1
5	たばこ	2	12	不明	10
6	ストーブ	1	計		45
7	電気機器	1			

救急・救助

- ◇ 救急概況
- ◇ 10 か年の救急出場件数
- ◇ 市町別救急出場件数
- ◇ 市町別救急搬送人員
- ◇ 署別救急出場件数
- ◇ 救急出場応援（PA 連携）
- ◇ 10 か年署別救急出場件数推移
- ◇ 時間別救急出場件数
- ◇ 月・曜日別種別毎搬送人員
- ◇ 事故種別医療機関別搬送人員
- ◇ 事故種別年齢区分別傷病程度搬送人員
- ◇ 現場到着所要時間別出場件数
- ◇ 収容所要時間別搬送人員
- ◇ 救急隊員の行った応急処置件数
- ◇ 救助概況
- ◇ 10 か年の救助出場件数
- ◇ 事故種別救助出場及び活動状況
- ◇ 発生場所別救助出場及び救助人員



救急事故の種別

火災	火災現場において直接火災に起因して生じた事故をいう。
自然災害事故	暴風・豪雨・豪雪・洪水・高潮・地震・津波・噴火・雪崩・地すべり・その他異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。
水難事故	水泳中（運動競技によるものを除く）の溺者又は水中転落等による事故をいう。
交通事故	すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。
労働災害事故	各種工場、事業所、作業所、工事現場等において就業中発生した事故をいう。
運動競技事故	運動競技の実施中に発生した事故で直接運動競技を実施している者、審判員及び関係者の事故（ただし観覧中の者が直接運動競技用用具等によって負傷した場合は含み、競技場の混乱による事故等は含まない）をいう。
一般負傷	他に分類されない不慮の事故をいう。
加害	故意に他人によって傷害等を加えられた事故をいう。
自損行為	故意に自分自身に傷害等を加えた事故をいう。
急病	疾病によるもので救急業務としておこなったものをいう。
その他	転院搬送、医師・看護師搬送、医療資器材等の搬送、その他のものをいう。

救助事故の種別

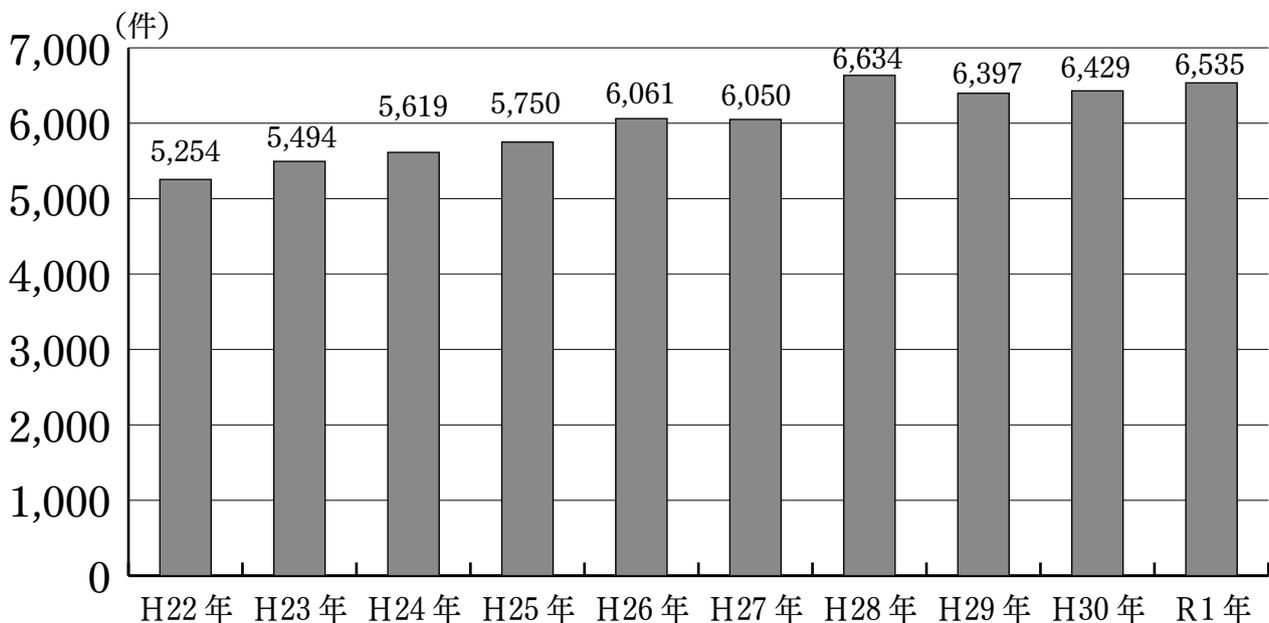
建物火災	火災現場において直接火災に起因して生じた事故をいう。
建物以外の火災	火災報告取扱要領による、林野・車両・航空機・その他の火災で生じた事故をいう。
交通事故	すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。
水難事故	水泳中の溺者又は水中転落等による事故をいう。
自然災害事故	暴風・豪雨・豪雪・洪水・高潮・地震・津波・噴火・雪崩・地すべり・その他異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。
機械による事故	エレベーター、プレス機械、ベルトコンベアーその他の建設機械、工作機械等による事故をいう。
建物等による事故	建物、門、柵、塀等、建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等に閉じ込められた事故、建物等に挟まれる事故等をいう。
ガス及び酸欠事故	一酸化炭素中毒、その他のガス中毒事故、酸素欠乏による事故をいう。
破裂事故	火災現場において、直接火災に起因して生じた事故以外のボイラー、ボンベ等の物理的破裂による事故をいう。
その他	前に掲げた事故以外の事故で、消防機関による救助を必要としたものをいう。出動したが誤報、いたずらであった場合も計上する。

◇ 救急概況

令和元年中における救急出場件数は6,535件(前年6,429件)、搬送人員は6,104人(前年6,049人)で、前年に比べ出場件数で106件(1.6%)の増加で、搬送人員で55人(0.9%)の増加となっています。このことは1日平均17.9回救急車が出場し16.7人を搬送したことになります。

- 事故種別でみると、救急搬送人員数では急病3,644件(59.7%)、転院搬送1,130件(18.5%)、一般負傷790件(12.9%)の順でした。
- 搬送人員を傷病程度別でみると、中等症3,029人(49.6%)で最も多く、次いで軽症が2,219人(36.4%)、重症761人(12.5%)となっています。
- 搬送人員を年齢区分別でみると、高齢者が4,063人(66.6%)で最も多く、次いで成人1,645人(26.9%)、少年184人(3.0%)で高齢化による傾向がみられます。
- 前年に比べ救急出場件数及び搬送人員がやや増加しています。

◇ 10か年の救急出場件数



年別 市町別	10か年の救急出場件数										合計
	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	
計	5,254	5,494	5,619	5,750	6,061	6,050	6,634	6,397	6,429	6,535	60,223
宇土市	1,653	1,732	1,758	1,761	1,867	1,793	2,016	1,952	1,987	2,027	18,546
宇城市	3,080	3,118	3,263	3,402	3,575	3,627	3,906	3,784	3,772	3,910	35,437
美里町	517	627	583	568	593	609	672	623	653	587	6,032
その他	4	17	15	19	26	21	40	38	17	11	208
(参考)											
熊本市富合町・城南町	1,331	1,407	1,418	1,446	394	宇城広域連合離脱				5,996	

◇ 市町別救急出場件数

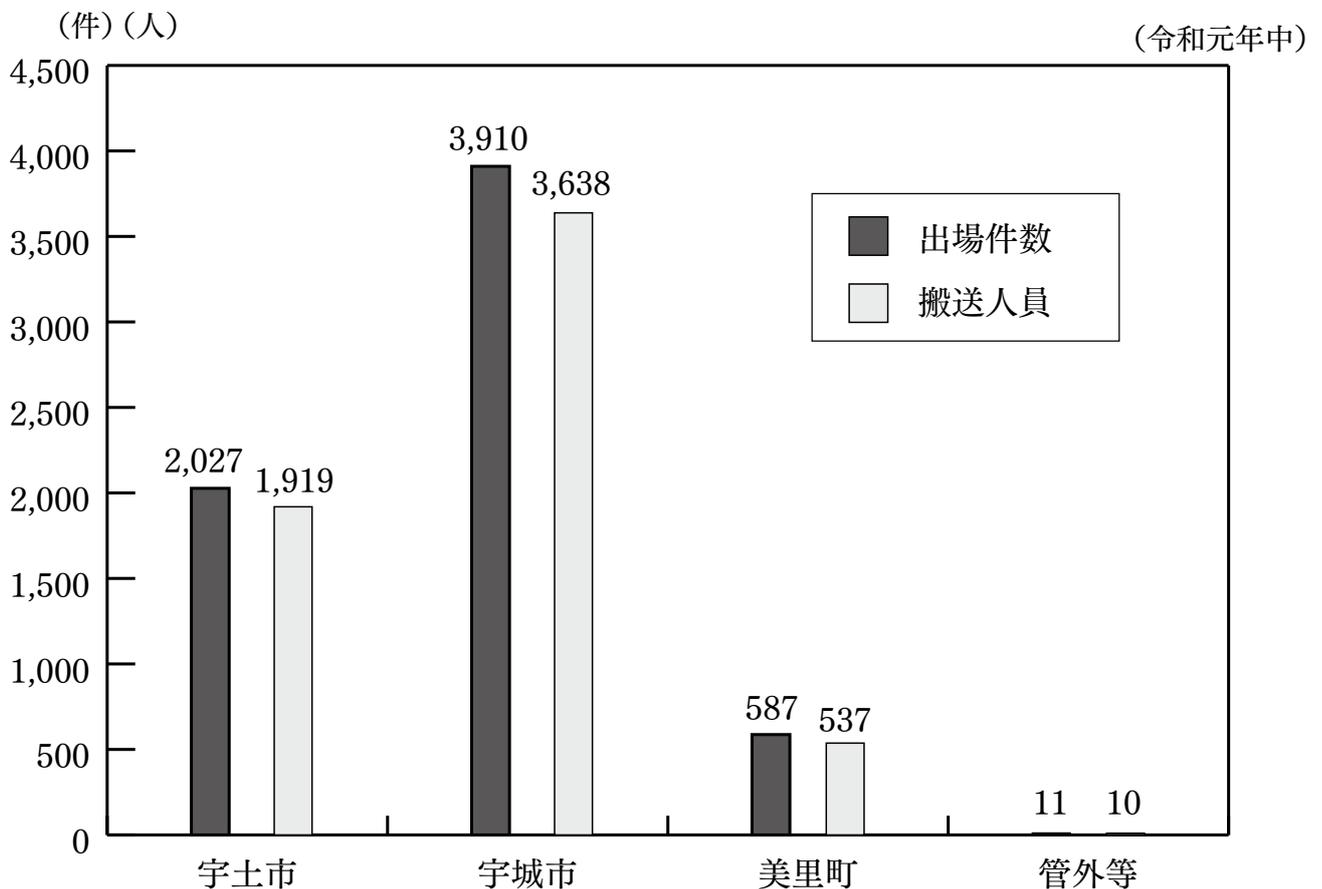
(令和元年中)

事故種別 市町別	事故種別												
	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	合計
宇土市	9			156	24	10	284	7	12	1,284	238	3	2,027
宇城市	25		4	228	22	33	460	9	17	2,295	812	5	3,910
美里町	8			26	5	4	106	2	8	339	87	2	587
管外等	4			5						1		1	11
合計	46	0	4	415	51	47	850	18	37	3,919	1,137	11	6,535

◇ 市町別救急搬送人員

(令和元年中)

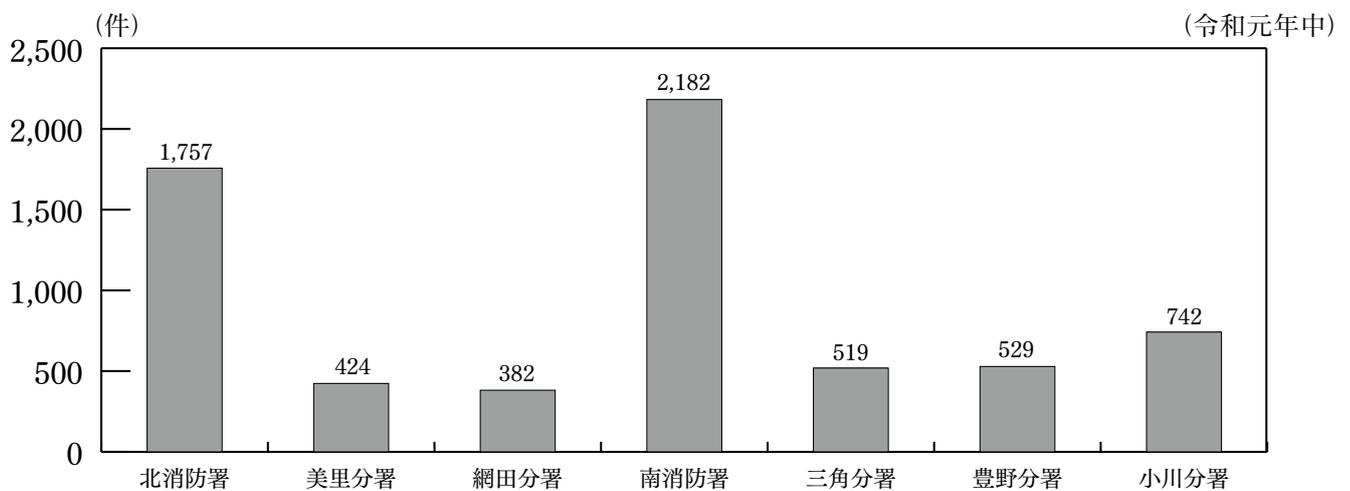
事故種別 市町別	事故種別												
	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	合計
宇土市				146	24	10	275	4	12	1,213	235		1,919
宇城市	5		3	220	22	30	424	6	10	2,109	809		3,638
美里町	1			22	5	4	91	1	6	321	86		537
管外等				9						1			10
合計	6	0	3	397	51	44	790	11	28	3,644	1,130	0	6,104



◇ 署別救急出場件数

(令和元年中)

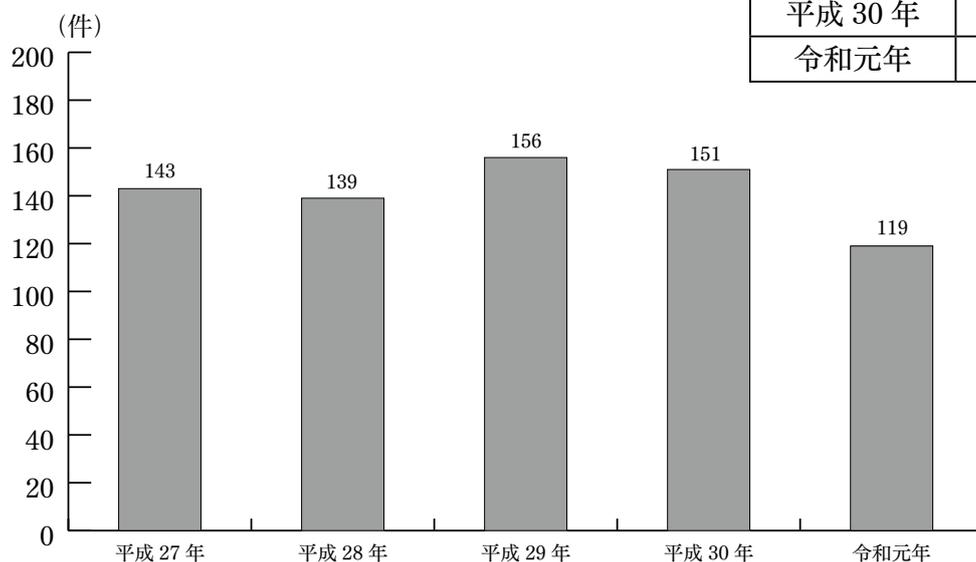
事故種別 市町別	火災	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他				合計
											転院 搬送	医師 搬送	資器材 搬送	その他	
北消防署	17		1	137	21	10	231	6	13	1,074	245		1	1	1,757
美里分署	3			17	5	3	88	1	7	250	48			2	424
網田分署				39	3		68			256	15			1	382
南消防署	15			120	7	15	244	6	11	1,211	552			1	2,182
三角分署	2		2	30		3	52		2	262	164			2	519
豊野分署	3			31	8	2	62	3	3	332	85				529
小川分署	6		1	41	7	14	105	2	1	534	28			3	742
合計	46	0	4	415	51	47	850	18	37	3,919	1,137	0	1	10	6,535



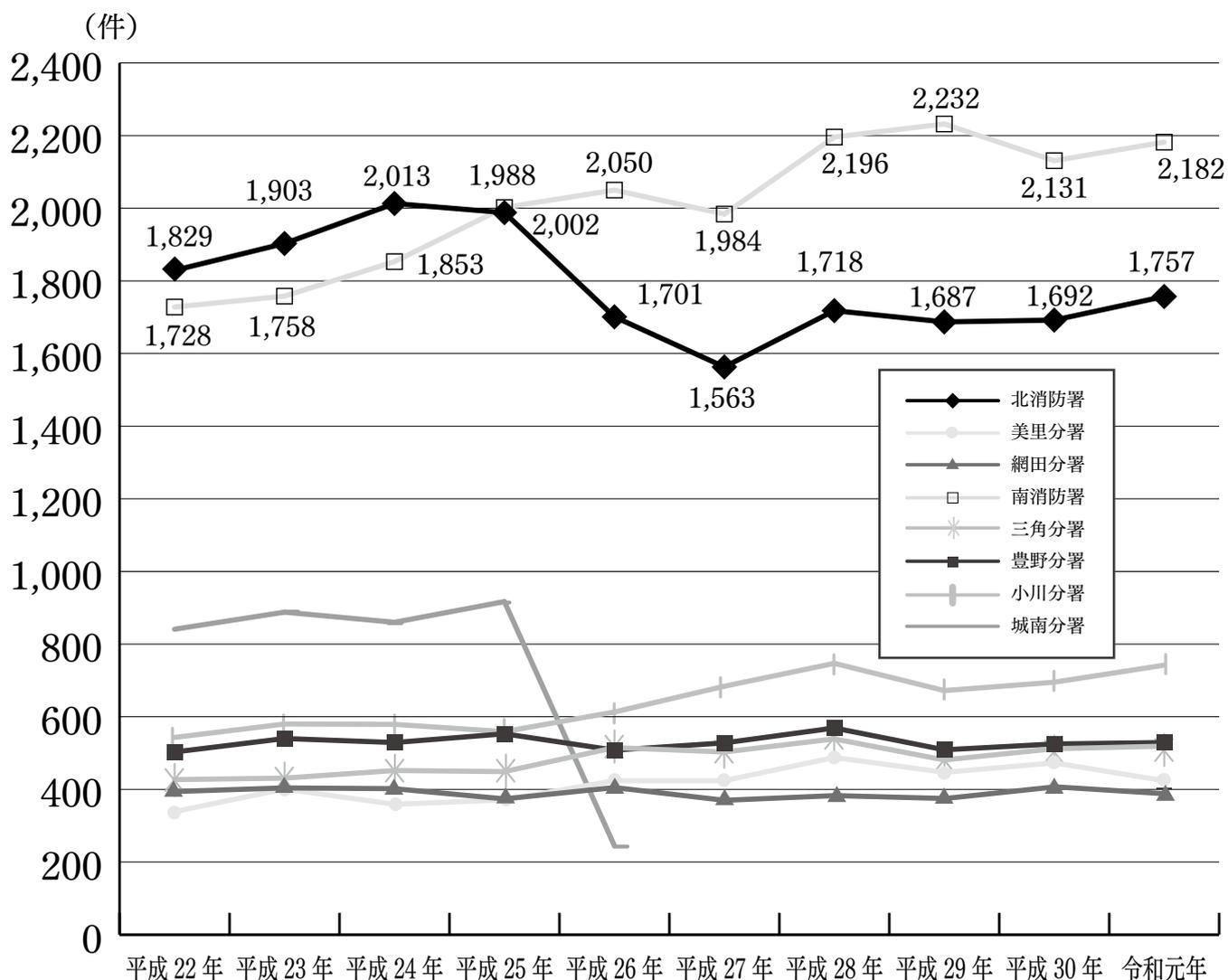
◇ 救急出動応援 (PA 連携)

「PA 連携」とは、救急出動要請に伴い、消防ポンプ車等を救急自動車に先行又は同時出動させ、救急現場等において消防ポンプ車等の消防隊等に救急活動を支援させる活動をいいます。(へり支援を除く。)

年	PA連携件数
平成 27 年	143
平成 28 年	139
平成 29 年	156
平成 30 年	151
令和元年	119



◇ 10 年署別救急出場件数推移



署別	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	合計
北消防署	1,829	1,903	2,013	1,988	1,701	1,563	1,718	1,687	1,692	1,757	17,851
美里分署	339	401	359	371	424	424	488	447	473	424	4,150
網田分署	388	398	396	368	399	364	377	369	401	382	3,842
南消防署	1,728	1,758	1,853	2,002	2,050	1,984	2,196	2,232	2,131	2,182	20,116
三角分署	427	431	452	449	515	503	539	481	512	519	4,828
豊野分署	503	540	529	553	508	528	569	509	525	529	5,293
小川分署	543	580	579	559	613	684	747	672	695	742	6,414
城南分署	841	888	860	917	245	宇城広域連合離脱					3,751
合計	6,598	6,899	7,041	7,207	6,455	6,050	6,634	6,397	6,429	6,535	66,245

平成26年城南分署1月～3月の件数

◇ 時間別救急出場件数

(令和元年中)

事故種別 時間	火災	自然 災害	水 難 事 故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他				合計
											転院 搬送	医師 搬送	資器材 搬送	その他	
0～2	1			6			26	5	2	207	24			1	272
2～4	1			3	1		21	4		163	13			1	207
4～6	1			9	3		22		1	179	7				222
6～8	5			33			67	1	3	300	16			1	426
8～10			1	54	8	4	115	2	4	490	104			4	786
10～12	5		1	64	11	16	114	2	5	365	266			1	850
12～14	7		1	40	9	11	82		3	386	220		1		760
14～16	12			42	7	3	97	1	5	339	168			1	675
16～18	4			63	6	7	100	1	3	360	147			1	692
18～20	6			62	1	4	91		5	420	102				691
20～22	3		1	18	5	2	78	1	4	430	42				584
22～24	1			21			37	1	2	280	28				370
計	46	0	4	415	51	47	850	18	37	3,919	1,137	0	1	10	6,535

